

巻末資料

●長期総合計画（後期計画）と一元化する計画 128ページ～138ページ

- ・第3期新居浜市デジタル田園都市構想総合戦略
- ・新居浜市行政改革大綱
- ・新居浜市シティブランド戦略

第3期 新居浜市デジタル田園都市構想総合戦略について

総合計画内に位置付ける「第3期新居浜市デジタル田園都市構想総合戦略」を以下のとおり定めます。

1 目的・位置付け

総合計画に掲げる将来目標人口及び将来都市像の実現を図るため、分野横断的に取り組む人口減少対策に関連する施策を、本市における「デジタル田園都市構想総合戦略」と位置付けます。

2 構成

総合計画に掲げる6つのまちづくりの目標と計画の推進における施策の中で、人口減少対策を推進するための施策を本市の総合戦略とし、総合戦略には4つの基本目標を設定します。4つの基本目標に基づく施策を推進する上では、デジタル技術を活用し、より効果的に地域課題を解決することを目指します。

また、4つの基本目標には達成度合いを測る数値目標を設定するとともに、基本目標の進捗を測る重要業績評価指数（KPI）を設定し、総合計画と一体的に効果検証を行っていきます。

6つのまちづくりの目標・計画の推進と総合戦略の関係



4 基本目標

基本目標 1

新たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、地域産業を振興します

数値目標 製造品出荷額等（総合計画 まちづくり目標3）

施策1-1 地域産業の振興

本市産業において課題となっている新たな取引先の開拓や人材不足の解消、技術・技能の伝承を支援します。また、コスト削減による収益力の改善等の取組を支援するとともに、高付加価値製品の開発に対する支援も行います。また、商業集積地域等の活性化に向けた取組や第一次産業の新たな事業展開を支援します。加えて、新居浜ブランドの育成を支援し、地域産業の活性化を図ります。

KPI 雇用保険被保険者数（総合計画 施策3-3）

施策1-2 新産業の創出、創業への支援

新たな産業への進出、今後成長が見込まれる産業の育成を支援します。また、「産業競争力強化法」に基づく、「創業支援事業計画」の認定を受けており、この計画のもと更なる創業の支援を行います。

KPI 創業支援補助金交付件数（総合計画 施策3-2）

施策1-3 住友各社との連携強化と企業誘致の促進

本市は、別子銅山の開坑以来、住友各社とともに発展を遂げてきた歴史があり、今後においても、本市経済に大きなウエイトを占める住友各社との良好な関係を継続・深化する必要があります。また、本市の持続的発展のため、新たな企業の誘致を促進します。

KPI 企業立地奨励金の対象となる企業の立地件数（総合計画 施策3-1）



基本目標2

居住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を創出し、交流人口・定住人口を拡大します

数値目標 入込観光客数（総合計画 施策3-4）

施策2-1 移住・定住の促進

本市では、ここ数年、転出者数が転入者数を上回る社会減の状況が続いていることから、その改善に向け、移住相談体制の整備充実や本市出身者の地元への就職などのUターンの促進、本市への定住の促進を図ります。

KPI 移住者数（総合計画 施策7-1）

施策2-2 交流人口の拡大

本市の発展の礎となった別子銅山の近代化産業遺産群や新居浜太鼓祭りは、本市固有の貴重な観光資源であることから、より効果的な情報発信や観光商品の開発などに取り組みます。また、シティプロモーションの推進、物産の振興などに取り組み、交流人口の増加を図ります。

KPI 観光消費額（総合計画 施策3-4）

施策2-3 関係人口の創出・拡大

市外の人とのつながりを構築し、積極的で、確実な情報発信を行うことで、本市に興味と関心を持ってもらい、観光や移住・定住につないでいくための、関係人口を積極的に創出します。

KPI 地域ブランド調査における本市の魅力度ランキング（総合計画 施策7-1）



基本目標3

浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します

数値目標 年間出生数（総合計画 まちづくり目標1）

数値目標 健康寿命（総合計画 施策2-1）

施策3-1 少子化対策の充実

本市における年間出生数は毎年減少傾向にあり、歯止めをかけるためにも若い世代の結婚に向けた取組や妊娠・出産の各ステージにおける切れ目ない支援体制を構築するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

KPI 「子育て支援・教育」について不満を感じる市民の割合（総合計画 基本目標1）

施策3-2 子育て支援の充実

子育て世帯が安心して子育てができるよう、経済的支援を拡充するとともに、子育てのしやすい環境整備を推進します。

KPI 「子育て支援・教育」について不満を感じる市民の割合（総合計画 基本目標1）

施策3-3 教育環境の整備

グローバル化や情報化など社会の急激な変化に伴い、子どもたちが未来を生き抜くための力を身につけられるよう、多様な教育の場の提供や小・中学校への効果的なICT機器の導入など教育環境の整備、充実を図ります。

KPI 「子育て支援・教育」について不満を感じる市民の割合（総合計画 基本目標1）

施策3-4 健康寿命の延伸

本市の健康寿命が全国平均、愛媛県平均を下回っている現状を踏まえ、生活習慣病の予防や介護予防などに積極的に取り組み、健康寿命の延伸を図ります。

KPI がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）の精密検査受診率（総合計画 施策2-1）



基本目標4

市域・組織を越えた連携を深め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

**数値目標 「新居浜市の住みごっこ」について不満を感じる市民の割合
(総合計画 まちづくり共通)**

施策4-1 時代に合ったまちづくりの推進

変化の激しい社会に対応できるまちづくりを進めるため、Society5.0を実現できる、持続可能な時代に合ったまちづくりを推進します。

KPI 人口に関する居住誘導区域内人口の割合 (総合計画 施策4-1)

施策4-2 健康で豊かな生活が送れるまちづくりの推進

一人ひとりが健康で、豊かな生活を送れるまちづくりを進めるために、文化・スポーツの推進を図り、生涯を通して活躍できる生涯活躍のまちの実現に向けた取組を進めます。また、木のおもちゃを活用した木育を推進します。

KPI 文化芸術施設利用者数 (総合計画 施策5-2)

施策4-3 安全・安心のまちづくりの推進

近い将来発生が予測されている東南海・南海地震に対する備えや近年増加の一途をたどる管理放棄住宅への対策を推進します。

KPI 住宅耐震化率 (総合計画 施策4-3)

施策4-4 協働のまちづくりの推進

多様化する地域課題に対応した住みやすいまちづくりを推進するために、協働の理念をもった話し合いの場を創出し、つながりが生まれる取組を推進します。

KPI ボランティア・市民活動団体登録数 (総合計画 施策5-8)

施策4-5 3市(新居浜・西条・四国中央)連携の推進

新居浜市、西条市、四国中央市の3市は、ものづくりの産業という共通の基盤を有し、生活圏の結びつきも強いことから、圏域全体の振興に向け、連携を推進します。

KPI 広域行政の推進について不満を感じる市民の割合 (総合計画 施策7-3)

デジタル実装の基礎条件整備

国が強力に推進するデジタル実装の基礎条件整備と連携し、基本目標達成を目指します。

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略では、地域の個性を生かしながら「デジタルの力を活用し、地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化を図るとともに、そのために必要なデジタル実装の基礎条件整備の取組を強力に推進」していくこととされていることから、「まちづくりの目標 計画の推進 施策 7-4 ICT(情報通信技術)の利活用と市民サービスの向上」を位置付け、誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指し、地域の課題解決のための各方針の具体的施策をデジタル実装により実現します。

デジタル基盤の整備

情報システムとマイナンバーカードの連携を図り、証明書発行や行政手続きを効率的に行えるようにするため、行政手続きのオンライン化やデジタル基盤整備に取り組みます。また、デジタル技術を活用した防災体制の強化やICTを活用した読書・学習・文化環境基盤の整備に取り組みます。

デジタル人材の育成・確保

デジタル社会の急速な進展に伴い、国の自治体DX推進計画においても「デジタル人材の確保・育成」についての重要性が謳われています。本市においても、デジタル化の推進における慢性的な人手不足を解消するべく、情報専門職員の新規採用や外部人材の活用を検討し、安定的な業務の遂行につなげていきます。

誰一人取り残されないための取組

本市では少子・超高齢化が進み、団塊の世代が後期高齢者となる今後におきましては、その傾向はますます強くなることが見込まれます。災害時の避難情報やLINEなどを活用した情報発信が届かないことや、行政手続きのオンライン化などのデジタル化の恩恵を受けられない住民が多く存在します。そのため、高齢者等を対象としたスマートフォン相談会を実施するなど情報格差の是正に向けて取り組み、誰もがデジタル社会の恩恵を享受できるよう取り組みます。



行政改革について

行政改革を着実に推進していくため、総合計画の「まちづくりの目標 計画の推進 施策7-3 効果・効率的な自治体経営の推進」を行政改革大綱と位置付け、各施策の推進にあたり行政改革の観点で必要な考え方を示します。

1 行政改革の必要性

(1) コスト意識を持った行政運営

- 本市の人口は、昭和55年国勢調査時の132,339人をピークに人口が減り続け、令和2年度国勢調査では115,938人まで減少しており、少子・超高齢化、生産年齢人口の減少は進み、団塊の世代が後期高齢者となる今後におきましては、その傾向はますます強くなるが見込まれる。
- 税収の大幅増が見込めない中、今後も社会保障関係費の増、公共施設の維持管理費の増、大規模事業の実施に伴う経費の増加が見込まれる。
- 事務事業の廃止・統合や効率化による歳出削減や、新たな収入源の確保等による歳入確保を通じ、更なるコスト意識を持った行政運営が求められている。

(2) 多様化・高度化する行政需要への対応

- 社会経済情勢の変化やライフスタイルの多様化により、行政への需要は多様化・高度化している。
- 昨今、地方自治体は、これまで以上に地域の実情に即したサービスを提供する主体的な組織に転換していくことが求められている。
- 多様化・高度化する需要に対応したサービスを将来にわたって提供していくため、既存の組織・体制や事務事業について、不断の見直しをしていく必要がある。

2 行政改革について

(1) 目的

上記課題を踏まえ、次の目的で行政改革を進めることとする。

- 将来にわたって質の高い行政サービスを提供していく体制を整えるため
- 行政改革の視点に基づく事務事業の見直しを全庁的に行うことを通じて職員の意識改革を進めるため

(2) 定義

総合計画に定めた将来都市像の実現を側面から支えるため、①総合計画に定めた施策・事業の実施方法や、②事業の実施主体である新居浜市の事務執行体制や行財政基盤を改善する（＝改革する、見直す）こと。

※総合計画との関係については「3 総合計画との関係」に記載。

(3) 視点

以下の視点に基づいて行政改革を実施する。

①行財政基盤の強化

行財政基盤（人・組織・財政・財産等の行政運営の基礎となるもの）を強化又は効率化するための取り組みを実施する。

②受益者負担の適正化と歳入の確保

受益者負担の適正化や新たな財源確保等の観点から既存の施策・事業を見直す。

③事務の効率化

事務手順の見直しや新たな情報システムの導入などにより事務の効率化を図る。

④サービスの向上と事業改善

多様化・高度化する行政需要に対応するため、既存事業の事業内容や実施手法、対象等を見直す。

(4) 目標

(3) に示した視点に基づき、「行政改革取組項目」(以下、「取組項目」という。)を設定する。個別の取組項目毎に達成目標を設定する。

3 総合計画との関係

(1) 総合計画上の位置づけ

- 行政改革大綱は、総合計画を支える下位計画の一つであり、総合計画の「まちづくりの目標 計画の推進 施策7-3 効果・効率的な自治体経営の推進」の中に位置づけ、包含するものとする。
- 行政改革は、総合計画に掲げた施策・事業を効果的、効率的に進めるため、限りある行財政資源を有効に活用し、行財政基盤を見直す役割を果たす。

(2) 行政評価と行政改革との役割分担

- 行政評価は、総合計画に定めた各施策・事業が、その目的に照らして適切かつ計画的に実施されているかを個別に点検・評価するもの
- 行政改革は、2(3)に示した視点に基づく特定のテーマで横断的に市の施策・事業を点検し、改善を促すもの
- 行政評価と行政改革とで視点は異なるものの、各施策・事業を点検し課題を捉え、今後の展開を議論する点で重複する部分も多いことから、事務の効率化の観点から連携して取り組むこととする。

新居浜市シティブランド戦略について

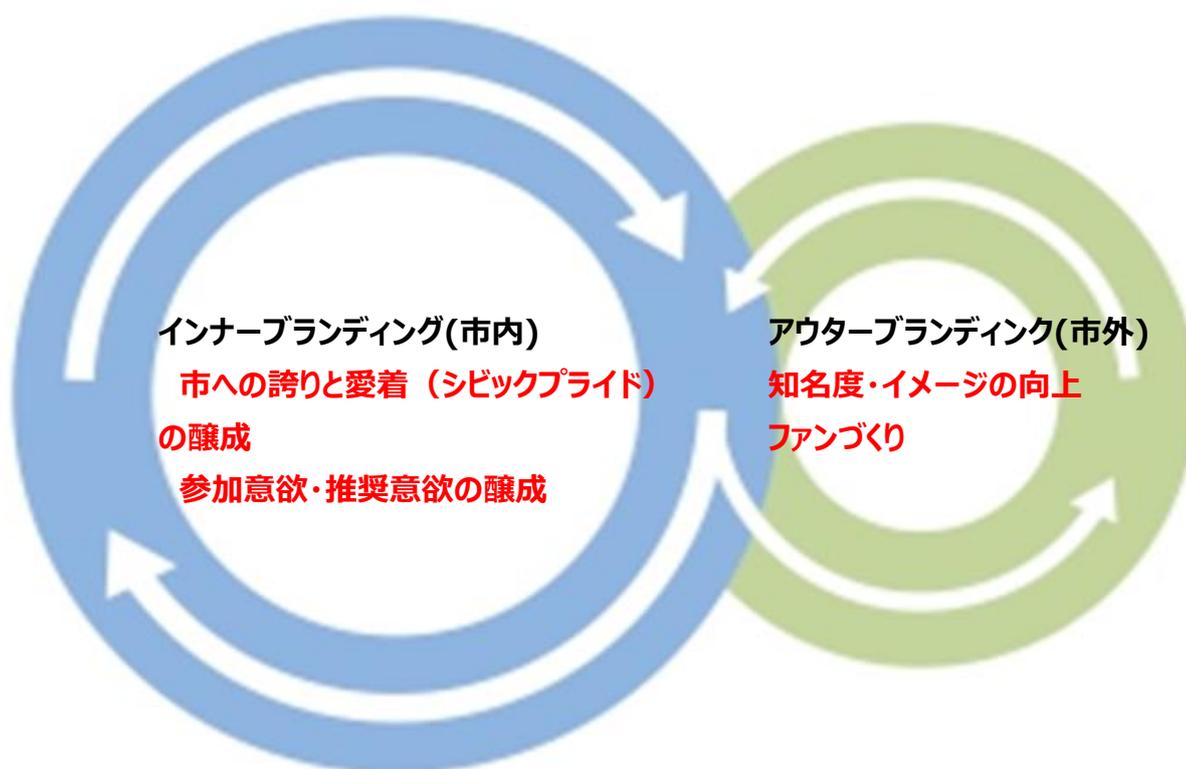
地方創生の推進に向け、人口の社会減少を抑制し地域の活性化を図る必要があることから、総合計画の「まちづくり目標 計画の推進 施策7-1 人口減少対策とシティブランド戦略の推進」をシティブランド戦略と位置付け、各施策の推進にあたり必要な考え方を示します。

1 構成

シティブランド戦略は、基本目標（戦略の目指すところ）、ブランドスローガン、シンボルマークに加え、基本方針である4つ戦略を掲げ、シティプロモーションを推進します。

また、各戦略の進捗を測る成果指標（KPI）については、総合計画の指標から該当する項目を指標とし、一体的に効果検証を行っていきます。

2 基本目標（戦略の目指すところ）



選ばれるまちになる(関係人口の創出、交流人口、移住・定住人口の獲得)

3 ブランドスローガン

Hello! NEW

Hello! NEW PEOPLE (新しい人々)

Hello! NEW JOB (新しい仕事)

Hello! NEW LIFE (新しい生活)

Hello! NEW SENSE (新しい感覚)

Hello! NEW CLUTURE (新しい文化)

ヒト、モノ、コト。

このまちに集まるたくさんの「新しい」を

受けとめ、交わり、

次の新しいを生み出そう。

新しいをチカラに。

ひとり一人の軽やかなフットワークが、

このまちの未来になってゆく。

4 シンボルマーク



Hello! NEWと、吹き出し/風船モチーフの組み合わせ。

市民の想いが生まれる、気持ちが動き出す。

ひとりひとりの想いがふくらみ、大きな想いに。

5 基本方針

戦略Ⅰ シティブランド活動の体験価値を高めることで共感を得る

市の魅力等を直接体感していただくプログラムを実施することで、体験価値を高めより多くの「共感」が得られるようにする。

KPI 移住者数（総合計画 施策7-1）

戦略Ⅱ シティブランド活動への参画意欲・推奨意欲の醸成を図る

「よりよいまちにしていきたい」「自らその魅力を発信したい」という層を発掘し、活動をともにすることで、市民と行政、また、市民同士が活動を通じて繋がりを強化し、シティブランド活動への「共感」を生み参画意欲、推奨意欲の醸成を図る。

本市出身の大学生等やゆかりのある方に、市の情報・交流の場を提供し、Uターン等につながる取り組みを行う。

KPI 地域ブランド調査における本市の魅力度ランキング（総合計画 施策7-1）

戦略Ⅲ 若い世代の定着に向けた魅力の創出及び発信

若年層や子育て世代の定住意向を育むため、若い世代に向けた地元企業や各種制度等のPRを行うとともに、女性の働きやすい職場環境の整備、子育て環境の整備等を行う。

KPI イベント等をきっかけとした婚姻数（総合計画 施策7-1）

KPI 結婚支援事業における参加者の満足度（総合計画 施策7-1）

戦略Ⅳ 市独自の価値・暮らしやすさの認知度向上を図り、各種メディアの利点を活かした戦略的情報発信を行う

暮らしの視点（ライフステージ）から市の魅力（価値）を整理し、他市との差別化を行い、ターゲットに訴求する内容の冊子、Webサイト、SNSを活用して、情報発信を行う。

市内外に向け戦略的に情報発信を行い、情報発信力の拡大を図る。また、人、モノ、コトにフォーカスをあてることで、「共感」が生まれる情報発信を行う。

KPI 移住・定住ポータルサイト「新居浜Life」訪問数（総合計画 施策7-1）

KPI 都市データパック「住みよさランキング」（総合計画 施策7-1）

巻末資料

● 各種アンケート調査の結果 139ページ～164ページ

- ・市民意向調査
- ・高校生政策アイデアコンテスト参加者への調査
- ・プチモニアンケート
- ・市政モニターアンケート
- ・まちづくりタウンミーティング参加者への調査
- ・第一生命協力 市民アンケート

1 調査等の概要

さまざまな立場の市民のみなさんのまちづくりへの思いをお聞きして、計画見直し（後期計画策定）の参考意見とするため、6種類のアンケート調査を行いました。調査等の概要は次のとおりです。

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
1	市民意向調査（無作為抽出）	令和7年2～3月	全年齢層	433人
2	高校生政策アイデアコンテスト参加者	令和7年6月	高校生	42人
3	プチモニアンケート	令和7年6～8月	比較的若い世代	608人
4	市政モニターアンケート	令和7年7月	市政に関心の高い中高齢層	163人
5	まちづくりタウンミーティング参加者	令和7年7～9月	市政に関心の高い中高齢層	414人
6	第一生命協力（顧客アンケート）	令和7年8～9月	20代～50代が中心	281人
			計	1,941人

2 要望の多かった項目と関連する施策

6種類のアンケート調査において特に要望の多かった意見及び要望に関連する市の施策（取組方針、取組内容）は次のとおりです。

要望の多かった意見	長期総合計画（基本計画）の関連施策	基本計画 ページ番号
子育て支援の充実	施策1-1 子ども・子育て支援の充実	23～25
	施策1-2 家庭、地域の教育力の向上	26～27
働きやすい環境の整備	施策3-3 雇用環境の充実	51～52
公共交通の充実	施策4-8 運輸交通体系の整備	83～84
若者向け娯楽施設の誘致	施策7-1 人口減少対策とシティブランド戦略の推進	116～117
近隣にない文化施設機能を有したアリーナ建設	施策5-2 文化芸術の振興と歴史文化の継承	89～90
みらいの学校づくり （施設の老朽化対応や空調整備の導入）	施策1-3 学校教育の充実	28～29
学校給食の充実	施策1-3 学校教育の充実	28～29
災害発生後の復興スピードアップのための 事前復興計画の策定	施策4-5 防災・減災対策の推進	75～76

3 各アンケート調査の結果・自由意見

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
1	市民意向調査（無作為抽出）	令和7年2～3月	全年齢層	433人

問1 今後、新居浜市が力を入れるべき施策について （○印3つまで）

	回答者数	回答数	割合（%）	
1子育て支援の更なる充実	433	146	33.7	1位
2教育力の向上	433	74	17.1	
3若者向け娯楽施設、レジャー施設の誘致	433	61	14.1	
4子どもから大人まで三世代が交流できる施設の整備	433	60	13.9	
5高齢者の生きがい支援施設の充実	433	113	26.1	
6市民の誰もが憩いの場となる公園の整備	433	41	9.5	
7大規模なスポーツ大会や各種イベントを開催できる施設環境の整備	433	53	12.2	
8観光振興によるまちづくり	433	24	5.5	
9企業用地の整備と企業誘致による産業の集積	433	76	17.6	
10働きやすい環境の整備	433	134	30.9	2位
11近代化産業遺産を活用したまちづくり	433	16	3.7	
12文化センターの建て替え	433	66	15.2	
13駅南地区のまちづくり	433	31	7.2	
14公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）	433	122	28.2	3位
15道路を中心とした都市基盤整備	433	68	15.7	
16商店街の再開発	433	43	9.9	
17シティプロモーションや移住定住の促進	433	32	7.4	
18市民の誰もが個性を認め合う人権尊重のまちづくり	433	30	6.9	

問2 その他自由意見

1 暮らしの安全安心に関する意見

意見	地域	年代
社会資本の老朽化による災害が懸念される昨今、新居浜市のライフライン、橋、道路等のメンテナンスは大丈夫でしょうか。		
市長が交代したので新居浜に新しい風が吹くことを期待しています。異常気象が続き孫たちの将来が心配です。本気で環境問題に取り組む時だと思います。そのリーダーシップを新居浜市に取って頂きたい。	中萩	80歳以上
年齢を重ね、たくさんの人に支えられて生活していることに気づきます。誰もが楽しく行動できて生活できる街作りをよろしくお願いします。	中萩	75～79歳
まだまだ高齢化社会は続くので、高齢者が買い物や通院などをしやすい住みやすい町であって欲しい。高齢者とともに子供にもやさしい町であって欲しい。子供は無限の可能性があるので夢や目標や理想が実現しやすい町であって欲しい。また、高年齢、障がい者などの弱者にも優しい、住みやすい町であって欲しい。特に、精神障がい者を大切にしたい。	多喜浜	80歳以上
やってほしいこと…災害用のトイレ整備（公園など）。文化センターの建て替え（同じ場所かイオン周辺の住友企業の土地へ）。図書館の利用時間の延長と西条市のような自習室の設置。大型ごみ有料化の撤廃。観光の充実（大島、別子山など）。百貨店の誘致。地元料理のPR（ふぐザクなど）。市内医師、看護師の獲得。財政の立て直しを望む。	金子	60～64歳
災害（津波）時の海側地域の住民が避難するための道路が不足している。避難経路の整備を実施してほしい（人命優先の政策を願う）	浮島	40～44歳
上部地区国領川河川敷は川の中までもきれいになり大変良かったです。20年以上ほつたらかして。今後は時期を見ていつもきれいにしてほしいです。新田橋上流の草木も伐採してほしいです。大雨の時下流に流れないか心配です。新田東橋も古くなっています。再橋梁工事はしないのでしょうか。古い道路の直しをしてほしいです。グレーチングが大変大きな音を立てています。図書館アプリで本の予約ができるようにしてほしいです。市内の公共工事のピフォアフター等、市政だよりなどで知らせてほしいです。街中がきれいでないこと移住とか定住とか市外からの呼び込みは無理だと考えます。空き家、ごみ収集とか改善できることは多数あると思います。	角野	65～69歳
大雨時の道路の冠水（溝の排水が悪い、パトロールの強化）。街灯の暗さ、少なさ（防犯対策）。新居浜市の財源難には疑問。	多喜浜	70～74歳

2 生活の快適さ・便利さに関する意見

意見	地域	年代
デマンドタクシーとスクールバスの組み合わせなどがあつたら過疎化が進む集落に若い人や移住者が増えるかもしれない。近年の犯罪などを未然に防ぎ、魅力的な街づくり、安心して暮らす事ができる。少子高齢化が進む中、知恵を出さなければならぬ。休耕地も多くなっており、高齢になると手がつけられない土地の活用方法に行政の手助けを求めたい。	宮西	60～64歳
免許証を返納しようと思っても、現況では買い物、通院等で不自由するのは目に見えているから返納できない。もう少し細やかな交通手段を考えられないでしょうか。	角野	80歳以上
未来の子供のために、安心安全ですつと新居浜にいたいと思えるような市になること。高齢者が車を運転しなくても買い物や病院へ行く交通手段を考えてほしい。	中萩	70～74歳
介護タクシーがもっと安く、いつでも利用できれば助かります。	角野	75～79歳
最近自治会に入る人が少なくなっている。また自治会の活動も少なくなっている。デマンドタクシーなど、市全体に行ければいい。大型ごみ年1回でもいので回収してほしい。	中萩	70～74歳
黒道の渋滞の緩和をお願いします。	中萩	55～59歳
今はまだ毎日の買い物を車でいけるが、免許返納後の生活が心配。	泉川	70～74歳
人が集まるのが重要である。スポーツイベント、音楽イベントなど、もちろん祭りもありますが、その為の駅周辺の整備は欠かせない。11号の新バイパスはできたが、途中片道1車線で信号も多いことから車の混雑が以前より悪化している。右折専用信号を増やしてほしい。何もかもイベントが中途半端と皆言っている。子育て支援に力をいれるのはわかるが、介護の為に若者が会社を辞めていくのも多い。働く人材が必要なのに、悲しい事です。あかがねポイントが使いにくい。西条のLOVE西条ポイントのように、現金、カード、ポイントの支払いが選択できるようにしてほしい。新しい若い市長に希望と期待しかない。	泉川	65～69歳
西条市と比較して劣っている。西条市の担当者に話をきいてはどうか。マイントピアをもっと活用して欲しい。子供の遊び場は平日ほぼ機能していない。食事の場ももう少しおいしいものを食べたい。ゆっくりできない。	金栄	55～59歳
デマンドタクシーをもっと使いやすくしてほしい。	中萩	80歳以上
船木地区について、交通の利便がよくなってにぎわいのある町に、そして高齢者が生きがいを持ち生活できる町にしてほしい。	船木	80歳以上
車を利用できなくなった高齢者に対してのまちづくり、JRの複線化。	船木	75～79歳
小さな子供が遊べる芝のある公園を増やしてほしい。中央公園は生かされていない。でも人が温かいので好きです。これからも市民みんなのために頑張ってください。	金栄	50～54歳
道路整備、例えば敷島通り（特に川東地区）、東田交差点から南国道11号線のポエムまでの整備、松原町から東の東田までに2車線がほしい。黒道（中村松木）の舗装を西条を見習ってください。	中萩	80歳以上
マイントピアに宿泊施設があれば登山客に便利。宮崎の日の影町道の駅の隣にあった列車の宿泊宿でとまったが、従業員も5時までにはチェックイン可能。道の駅で食事、風呂などで人手が少なくて済むと思う。デマンドタクシーは区域が決められており不便である。どこの病院でも行けるようにしてほしい。	角野	65～69歳
デマンドタクシーの利用をもっと広めてほしい。知らない人がたくさんいます。	船木	80歳以上
交通の便が悪い。低所得者が活動しにくい（できない）。災害への取り組みがわかりにくい。太鼓祭り（平和運行ができないなら出場停止期間を延ばして、喧嘩をしたらまつりができるくらいの罰則を厳しくしたほうが良い）。		
高齢化がもっと進み、免許返納の増加により公共乗り物の必要性が増してくると思います。15年程度前、こちらに越してきた際、路線の少なさにびっくりしました。	高津	60～64歳

3 保健福祉に関する意見

意見	地域	年代
障がい者、知的障がい者をもっと受け入れてほしい。	中萩	30～34歳
新居浜市の児童相談所がどこにあるのか何十年住んで知らなかった。その児相が古すぎて怖くて子供が入れない。療育手帳取得するまで大変すぎる。市の発達検査を拒否されたため、市役所→病院→市役所→児相→市役所。子供を連れてまわらないといけない。病院での発達検査2ヶ月待ち、児相での検査2ヶ月待ち、療育手帳発行まで1～2ヶ月待ち、通所受給者証2か月待ち、支援員をつけるのに4ヶ月以上待ち、すべてが終わるのに本当に丸1年かかった。障がい児の親、当事者になるまで、全くわからないことが多くて、こんな大変な思いをみんながしているのかと初めて知った。とにかく児相をどうにかしてほしい。文センどころじゃない。市役所近くもしくは中に、児相、保健センター、子育て支援センター、放デイなど子育てに関わるものが全てまとまれば本当に子育てしやすいだろうなと思います。これからの新居浜の進化に期待しています。頑張ってください。	大生院	40～44歳
若い人も高齢者も共に仲良く幸せに暮らせるまちづくり。UIJターンの強化。若者が未永く暮らしたいと思えるように福祉の手厚い支援を継続してほしい。自然豊かなすばらしさを感じていけるまちづくり。	角野	70～74歳
子どものいる世帯へは十分な支援ができています。子どもの支援より、高齢者への支援を考えてあげてほしい。今でも子どもへの支援は十分すぎるくらいです。障がい者、高齢者への支援をもっと考え、見直していただきたい。我が家の祖父母の年金額ではこれから先の生活、自分たちの老後が心配・不安です。子どもたちへの支援より、年金生活者への支援を考える。素敵な新居浜市になれば、新居浜から出ていく若い世代の人が少なくなると思いますが。	浮島	25～29歳
介護の関連する情報をわかりやすく伝えていただければと思います。(心身ともに疲れ果てているため)	神郷	65～69歳
①アレルギー対応病院の充実…市内の病院には頼れる小児科がなく、市外の小児科にかかっている。支援もほとんどなく市内では県病院しか対応不可。診察は1か月待ち、負荷試験は3か月待ちの現状。これでは治療が進まない。②アレルギー対応給食…幼稚園ではアレルギー対応食が不可のため毎日弁当持参。他の友達は給食を食べ、同じものを食べられない。小中もセンターとなり対応できないこともあると聞く。みんなと食べる給食はどうにかして対応してほしい。メニューの見直しや保育園審査の加点を認めるべき。③文化センター…アリーナ必要？今ある球場、体育館では困ることある？まずは設計図までできていた文化センターをどうにかすべきでは？④各市との連携…他市からの排ガスが気になる。どうにかならないものか(おそろ紙工場)	泉川	35～39歳

4 教育・文化に関する意見

意見	地域	年代
あかがねミュージアムについて更に住民、市民に寄り添った活動を希望いたします。外から見て、何のイベントを開催しているのかわかりにくいことが多い。道路の整備状況が悪く、歩行、自動車などで通行時に怪我になる見込みの場所が多い。上部、新居浜駅前、川西、川東地区がそれぞれ分断されている感じがします。	金栄	60～64歳
滝の宮公園の大型遊具や池回りの整備がよく整っている。有難い。大学や中高一貫校などがあれば若者も増え、市に、より活気が出そうに感じる(坂出市や丸亀市と比較して)。小中高など学校の建て替え、せめてトイレの改修希望。夏場は清掃では追いつかないレベルの悪臭がある。不登校児のための教育や居場所が限られている。市でも何らかの対策を期待したい。	金栄	50～54歳
今治市はサイクリングやサッカーチームなど活気があり、テレビで目にすることが多いが、新居浜には取り上げられるような活動が少なく、市全体に活気がない。もっと思い切った取組(大規模なコンサートホールや競技場)を作って、世界のアーティストがライブできる場所があればよい。お金はかかるが。	神郷	65～69歳
太鼓台は新居浜市の誇りであることは絶対に間違いない。但し、太鼓台を出せば、人は幸せになれるといった単純思考からは脱却してもらいたい。(要するにこれからは、新居浜市民以外が太鼓台に魅了されるそんなPRをしなければ、時代に潰れる。)	中萩	60～64歳
文化センターの建て替えは大切です。外部から人を呼べる施設として今のままでは力不足。あかがねミュージアムは中途半端。活用方法をもっとアピールできれば良いのと思う。	泉川	70～74歳
長田通りのJR縦断化。集客力の無いあかがねミュージアムのテーマ変更。小さくても旬のアーティストを呼べる会場	金子	65～69歳
市のにぎわいや活性化のためには早急に文化センター、体育館の建て替えは必須。西条市を見習うべき。若い古川市長に期待します。	中萩	60～64歳
市民文化センターの建て替えで大ホール、中ホール又は小ホールを多目的ではなく、きちんとしたホールを作ってほしい。	神郷	70～74歳

5 都市基盤・開発に関する意見

意見	地域	年代
あかがねミュージアムを中心として駅南側の整備を行い、文化活動ゾーンとして位置付けてほしい。文化センターは過大なものは不要。身の丈相当なものを望む。	多喜浜	60～64歳
電柱の地中化推進。住友以外の大企業の進出（受け入れ）。	金栄	60～64歳
高齢者が安心して働ける施設が新居浜市にはほとんどない。例えば、温泉施設や道の駅のような施設もなく、ほとんど西条市や今治市に出向いている。西条市や今治市のような町づくりをやるべきだ。新居浜市に出向く施設はほとんどなく、情けなく思う町だ。20年以上住んでいても、ほとんど良い政策はない。駅前だけは開発できたが、人が集まる施設はない。	中萩	80歳以上
駅前になぜあんなに住宅や小さな利用価値の低い箱物を作ったのか。街づくりが下手すぎませんか？駅前って市の顔ですよ。あんな小さな箱物をつくるのであれば、もっと大きなアリーナ等を作ったほうが大分マシです。税金の無駄遣い過ぎます。新居浜市に期待なんてしてません。もっと企画力のある人を採用しては？	金栄	40～44歳
本会議で、市内各所で活動しているプレイヤーや将来を担う学生、町づくりに関心がある方など多様な参加者と意見交換を行い、町づくりへの将来像や方向性について意見交換できるといいですね	金子	55～59歳
文化センターの建て替えをぜひお願いします	高津	75～79歳
昔は夜中で歩行者天国がとてにぎやかで楽しかった。文化センターにもいろいろな歌手が来て、遠くまで行かずにコンサートに参加できた。いつまで車を運転する（できる）か不安。近くの店が減少し、大型店まで行く足が心配。電動車いす等だと道路の整備ができてないと狭くて怖い。	高津	60～64歳
楠大通（6車線）。道路中央グリーンベルトに木を植える。緑豊かにする。大阪市御堂筋に負けない道路にする。新居浜一変します。駅南地区に大学を誘致する。新居浜駅表裏にぎわいます。	高津	75～79歳
他の市町村に比べ街路樹の整備が下手。伸びては丸坊主にして計画性がない。	角野	45～49歳
駅南地区のまちづくりには、北は南口を結ぶ車が通行できる道路の設置が必須だと思います。今治市に負けないようなまちづくりをしてください！	泉川	70～74歳
子育て支援の充実を図り、若い世代の移住定住を促進する。高等学校以上の教育機関が少なく、若い世代が市外県外へ流出してしまうことの対策をすべき。開発については駅から遠い商店街をそのまま再開しても、公共交通機関利用の若い世代等遠方からの集客は見込めないの、駅周辺に商店街等若者向け施設等開発したほうがいいのでは。	忽開	45～49歳
住友がなくても存続できるくらいの強さが新居浜にあれば、魅力も出てくるのではないのでしょうか。	泉川	50～54歳
道路が狭いのをなおしてほしい。交通ルールを守り、安全に通行、走行できるよう市民を指導してほしい。小中高生の交通マナーの向上もお願いします。とびだし、注意不足がとて多いです。	神郷	50～54歳
どの建物も中途半端で、ライブやコンサートのできる会場もなく、遊びに行くとしたらイオン。川東方面のバスは1時間に1本あるかないか。うつ病等の精神的障がい者にもとて厳しいです。NPOの支援施設を利用していますが、給料は7万程度、生活できません。駅前や市役所前の道路はきれいなのに川東地区や川西の飲食店街の道路はせまく、歩行者には向いていません。子供も大切ですがもう少し障がい者にも目を向けていただけるとありがたいです。	高津	50～54歳
自治会の設備投資の優遇、農業(作物の被害)に伴う設備投資、市営球場の移転及び建て替え、市議会議員の削減、川東地区の活性化	多喜浜	55～59歳
温泉がもっとあればよい。	金子	55～59歳
1イオン以外に出かける場所がない 2住友企業と市民の交流の場を設ける 3自然を取り入れた公園、誰もが気軽に行ける施設 4新居浜バイパスの4車線化全線開通 5別子ライン、マイントピアの整備 6四季彩広場の活用（ドームキッチン？） 7親子で遊べる施設	中萩	75～79歳
新居浜駅建て替え時に、駅周辺を商業に特化した地域にすべきだと思います。大学がない分、唯一の高専までの通りにもっとお店を集めるべきだった。商業地域と住宅地域を分けて、その間を行き来するための交通機関を据える等すれば良かったと思います。産学官の連携による若者流出の阻止・抑止もしてほしいです。なんせ新居浜市はまちづくりが下手くそだと思います。	垣生	45～49歳
新居浜駅周辺の都市計画に緑化の重要性が軽視されていると感じる。車社会中心の考えからか？歩行者無視の傾向を感じる。商店街の再生アイデアはあるはずなので、とりあえず「やってみよう精神」を否定せず演繹法で取り組むべきかと考えます	宮西	70～74歳

6 産業振興に関する意見

意見	地域	年代
新居浜市所有の郷山（平尾）を平地にして企業誘致に活用されたい。市内旧三地域に残る商店街の再開発に取り組んでほしい。川東地区の大型物流センター化に取り組んでほしい（企業独占は困ります）。市職員の積極的な企業誘致に対する営業姿勢に取り組んでほしい。現在のところ、住友企業風土に甘えすぎている。それが今後の税収に繋がります。	泉川	80歳以上
新居浜秋まつり 平和で喧嘩のないような秋祭りしてください。お祭りで亡くなるようなこと、絶対にならないようにお願いします。	宮西	80歳以上
若者と年寄りがかよく楽しいまちづくり。またこれから人口が少なくなり新しい企業を誘致して若者を新居浜市に定住出来るように、役所は考えてほしい。	垣生	80歳以上
駅前の商業施設の開発、文化施設の充実（レジャー施設等）街づくり、地元の商業も大切にPRしてほしい。	高津	55～59歳
企業との連携や大学誘致を行い、若者の流出を止めるべき。太鼓の喧嘩などの動画がネットに残り、新居浜はやばい、怖いイメージ。	神郷	35～39歳
飲み屋街の酔っぱらいをどうにかしてほしい。太鼓がうるさい。夜勤前に寝られない。21時以降は本当にやめてほしい。	金子	50～54歳
もっと活力あるまちづくり、若者が生活していけるまちづくりを。あかがねミュージアムやマイントピアで魅力ある活動を増やして人が沢山呼べるようにしてほしい。	神郷	75～79歳
大学進学等で一度市外に出て帰ってきて働きたが家族を作り、住み続けていけるような町になるといいと思う。	高津	50～54歳
女性が働く場が少なく自分の能力を発揮する仕事がないと感じる。理学療法士、作業療法士等の資格が取れる大学・専門学校の誘致と溶接甲子園をもっとアピールしてほしい。	大生院	65～69歳
大学で市外に出た若者が帰ってきたくなるような魅力ある企業（働きやすさ、賃金、多様な職種）が増えてほしい。その情報を積極的に発信してほしい。地元民ほど新居浜のことを知らなかったり、たいしたことないと思いついてもらいたくないと思う。	金栄	55～59歳
若者を含め幅広い人材が活躍できる職場があればいいと思います。特に若者は、大都市でないと自分が希望する就職口がないと言います。自分が育ったところで就職してほしいと思うのですが。	船木	65～69歳
若い人が働く場所を確保して、にぎやかな町にしたい。若い市長に期待している	金子	55～59歳

7 地域コミュニティ他に関する意見

意見	地域	年代
誰もが集い交流できる施設等があればいいと思います。	神郷	70～74歳
若者の自治会加入件数も減り続け、意見交換したり顔見知りになる機会が減り、コミュニケーションが取りづら。自治会に加入するメリットも感じられなくなり、このままでは地域との繋がりが減っていく一方だと思う。	金子	50～54歳
自治会離れの政策を市が主体的に考えていく。自治会任せにしない。	角野	70～74歳

8 暮らし向きに関する意見

意見	地域	年代
高齢者が増える一方なので若者が安心して働ける企業が増えてほしい。住友だけに頼る時代ではないと思う。交通の便が悪いので車を利用できなくなると公共の乗物が必要になると思うのでもっとデマンド等が簡単に利用できるようお願いしたい。デマンドを利用する人数が足りないとか、次までに時間がかかりすぎて利用をためらってしまう。	大生院	60～64歳
物価高による家計の負担はどんどん厳しくなっています。特に食事は毎日のことなので負担が大きいです。育ちざかりの子供たちにお米をお腹一杯食べさせてあげたいですが、今のお米の高騰では贅沢となってしまいます。お米券などの補助があればとても助かります。	角野	45～49歳
アンケート調査をすることより、もっと高齢者のことを考えて（年金）とか上げてほしい。子供たちのことばかりで（育児手当とか）少し甘いのでは？電気料金も高いし、古川市長考えてください。		
住民税の減税が必要です。介護保険料も高額すぎるので引き下げが必要です。	宮西	70～74歳
産業、祭り、教育等全てが中途半端。人なのか物なのか、もっときちんと考えて税金を使ってほしい。	角野	65～69歳
空き地が多くなっている。農業、工業が活性化できる街づくり、高齢者、子供が楽しめる街になって欲しい。新居浜市の海、山、川の資源を利用して活気ある市にしたい。	神郷	80歳以上
2人の子供を育てたが、公園等、子育てはしやすい環境だと思う。母親同士のコミュニティがあるととってもいいなと当時は思いました。今は子供は家を離れ、年をとっていくと公共の交通手段が少ないことに不安を感じます。車がないと生活できないと高齢でも免許を返納することに不便を感じ車を運転することで事故も少なからずあると思う。自分の年代からすると、高齢でも安心して生活できる町づくりをお願いしたいです。	神郷	50～54歳
子育て支援の充実や子どもに優しいまちにしてほしいです。そうしないと人口が減って衰退してしまうと思います。保育施設や病院・病児保育の充実。特に、保育園の育休退園をしなくても良いような方法があると、第2子以降を検討する人が増えるのではないかと思います。あと、病院（小児科）が少なすぎるので増えたら嬉しいです。子育てをするためにはどうしても子ども優先で仕事に専念したくてもできないことがあると思うので、その辺りの補助もあるといいかと思えます。	神郷	30～34歳
また、通学路の安全性の見直しも必要だと思います。道幅が狭い、大通りで車の通行が多い、等危険が多いです。子どもが暮らしやすく、大人になった後も住み続けたい、と思うまちになってほしいです。		
これから先、日本そのものの問題と共に、地方ならではの（道路等のインフラ整備など）の事項にも向き合わねばなりません。「新居浜って住み心地いいよね」と評価される町を目指すために働きやすい環境をはじめとする「努力すれば必ず報われる」魅力を培ってもらえると良いのではないかと思います。要するに「住んでる人に心地よさを感じてもらえる新居浜」を頑張っていたきたいと願っております。	泉川	35～39歳
子供を2人育てていますが、物価高で毎日の暮らしが辛いです。節約をできるだけしていますがもっと子供に旬の野菜や果物を食べさせたいという願いを叶えられていません。人手不足で仕事は忙しいけど給料は物価高に追いついていません。贅沢したいわけではなく、日々懸命に働いているのに将来明るいビジョンが浮かびません。新居浜は好きなので住んでいきたいと思っています。現在、子育てする中で小児科が少なく困っています。あかがねポイントの還元が市長が変わってからなくなって困ります。夜道が暗かったり、歩道が狭かったり、道路の白線が消えていたりといったインフラ整備してほしいです。信号のタイミングが変なところも改善してほしいです。よろしくお願ひします。	宮西	45～49歳

9 行政に関する意見

意見	地域	年代
今治が移住したい町で人気があるように、子育て支援やいろいろなところを参考にしたいと思う。今の今治市長やサッカーの岡田監督とかいろいろな人にきいたらどうですか	高津	60～64歳
水道代、ガス代が高い。住民税、市民税が高い。保育園に兄弟一緒に入れない（フルタイムなのに）。保育士の給料を上げて保育園の充実を。最低賃金が低すぎる。老人には手厚いのに子供に対して手厚くない。西条市、今治市の公園は整備されていてとてもきれいなのに、新居浜の公園は危険が多く芝生も汚く、公園自体が汚い。遊具も少ない。駐車場のない公園が多い。税金が高く生活が苦しいのに、生活保護や児童扶養手当をもらいながら娯楽施設にいっている人を見るとイライラします。不正受給の通報をしたけど動いてくれなかったんで、隣の市との連携などをして血税なので不正受給をしっかり取り締まってほしいです。	金栄	30～34歳
1つの工事が長すぎると思います。何年もかけて作った道路にしては、あまり交通の流れを改善されていないと思いました。遊歩道もその為なくなり、何のための道路なのか、子供たちにとって危険になった様に思います。無駄に工期を延ばすだけなら税金の無駄遣いだと思います。	金栄	45～49歳
子育て支援はやりすぎるくらい力を入れているが、どんどん60歳以上の人々の生活は苦しくなる。子供がない老人にとって今現在のことが大変なのに、子供にばかり（子供のいる家族ばかり）にお金が給付されるのはおかしい。今現在のことなのだ。給付されるお金を若い世代は本当に子供のためを思って使っているのか？60歳以上の人たちのことも考えてほしい。毎日の生活が大変なのだ。	角野	60～64歳
市長、市議会議員さん対話する機会がなく市民の声を中央に届ける手段がない。もっと市民の声を聞いてほしい。生の声を聞いてほしい。現場現場主義での市政を期待します。	金栄	60～64歳
まちづくりを進めるため、各自治体の入会促進をすすめてもらいたい。	高津	75～79歳
今治市の様に県内外への情報発信を積極的に行ってほしい。	宮西	45～49歳
滝の宮公園についてインクルーシブの取り組みが全くされていない。	垣生	75～79歳
ごみの収集についていつまでも置きっぱなしになっている。	金子	45～49歳
若者が定住し、老後も不安なく過ごせる新居浜を目指してほしい。	船木	60～64歳

10 総合的にみた市の住みごちに関する意見

意見	地域	年代
自動車免許を返納した後、買い物や病院に行きやすい町づくり、地元のお店の活気、祭り以外のものを考えるべき、祭り自体もやり方を考えるべき	中萩	50～54歳
住みやすい生活環境を見直す必要がある。ゴミ、道路整備など。	高津	65～69歳
①運転代行者の明らかな速度違反の取り締まり強化 理由：とんでもないスピードで走行しているのを何度も目撃した、無くてはならないかもしれないが、飲酒運転は無くしても、他の事故が起こったら本末転倒であるから。 ②騒音（緊急車両や工事の音などは除く）の無い（特に21時以降）静かな街にするために閑静な住宅街が付近にある酒類を提供する飲食店は21時までには閉店する。若しくは酒類の提供は禁止する。 理由：自分が住んでいる場所は静かな場所だが、少し前に非常識な輩が深夜営業の店を開き、そこで酒を飲んだ非常識な客が家の真ん中で喚き声を上げ、静かな眠りを何度も妨げられ、随分と嫌な思いをしたため。もう二度と、あんな思いはしたくないから。上記2件以外は、今のところありません、住みよい街です。	金子	45～49歳
新居浜市も今後、人口減少がスピードアップしていくこととなりますが、子育て世代や高齢者が孤独を感じないようなコミュニティづくりや意識の醸成が必要だと思えます。今の生活を大切にしながら、今あるものを資源として活かして、豊かな生活ができる街であれば良いと思えます。工業都市なので、企業誘致などもうまくいけば良いと思えますが、農地や山林等、自然の資源も大切に、すぐに自然にふれられる環境を維持していただきたいです。個人的には、国領川の河川敷でもっと安全に水あそび等ができたらしいです。閉鎖的なイメージは良くないですが、新居浜市として自治体内で雇用を創出できる環境であったり、人材を育成する場であったり、一定の人口を維持していける街づくりを具体的にすすめていく必要があると思えます。	新居浜	45～49歳
西条市・四国中央市・今治市等、近隣の市は、新居浜市と比べると、道路等すごく発展していると思えます。若者達が楽しく過ごせる様な施設等、魅力ある物が増えている様に思えます。もっと駅前を中心に、人が集まる様な街づくりを考えてほしいです。あかがねミュージアムは中途半端だと思います。	角野	75～79歳
避難場所となっている学校や公民館・公園等は1か所に集中しているので、離れたところに住んでいると不安です。元々あった学校などは仕方ないですが、そのすぐ近くに公園（広場）を作るのはどうしてですか。もう少しまんべんなく施設などは作ってほしいです。川東の多喜浜駅近くの永久堂の前の歩道が狭く、坂になっていて危ないのでなんとかしてほしいです。何年も前から言っていますが、変わりません。朝の登校時には、小中高の子どもがたくさん通り、何度も危険なことがありました。歩いている小学生、その横を通る荷物をたくさん乗せて重い自転車の中学生・高校生が転倒することもあります。どうか、なんとかしてもらいたく思います。よろしく願いいたします。朝夕は特に車の数も多く、車道に転倒でもしたらと思うと、心配でたまりません。	新居浜	55～59歳
進学等で市外に出た若者が「またいつか帰ってきたい」と思うような町になつたらいいなと思ってます。	金子	30～34歳

11 その他の意見

意見	地域	年代
市民の一人一人が相手を尊重しながら物事を進めていく社会を現実してほしい。	角野	55～59歳
政策へ若者の意見を聞く場を設けていること、共感しています。若者の声にならない声を拾い、意見を公平に取り扱える仕組みを求めます。自己肯定感、自己効力感、自己有用感を醸成すること、産業の広がりを支援すること、若者の流出抑制に絞った人口減少対策に関心があります。国の地方創生の変化が早く大変ではありますが、地方のビジョン、目的、取り組み、効果検証をエビデンスに情報公開してください。返信封筒にリテープをつけてほしい。		60～64歳
昭和53年（1978年）転勤と同時に転居し、最初は駅前（坂井町）に住み、以来48年間2人の子供も高校までは新居浜で過ごしてきました。社会人になっても西条と新居浜に住んでいます。物価も比較的安く夫婦2人だけで生活していますが、知り合いも増え、第2の故郷になっていました。	中萩	80歳以上
無作為に選出して30分程度所要時間のかかるアンケートを、無償で回答させる事に対して遺憾です。（アンケート記入が任意とはいえ）	金子	35～39歳
おいしい空気、食べ物。体も心も元気で安心して暮らせる環境 大人も子供も。支えあえる人間関係。これからの新居浜市に期待します。愛のある新居浜市に生まれ育って。今も。	金栄	65～69歳
駅弁（新居浜の素材）を充実させて、グランプリで出せる様なものを創作してほしいと思えます。	中萩	65～69歳
文化センターの建て替えは、絶対反対！あかがねミュージアムも集客とかも中途半端な建物で、一部の人の利権でなく、総合的に考えて新居浜市の発展に役立つもの、総合的に利用できるものを建築してほしい。	泉川	65～69歳
・市民文化センターが古いから建てかえてほしいです。 ・人口が13万2千人いましたが、今は11万人に減り、議員さん職員さんはそんなに人員いるのでしょうか。 ・自治会の件ですが、若い人が家を建てて、自治会に入らない人がたくさんいるので、また入っていてもやめる人がいるので、何とかしてほしいです。	中萩	80歳以上
F Mラジオで新居浜を盛り上げていけると思う。活用しないともったいない。道路の整備が遅すぎる。自転車道も危なくなった。	角野	50～54歳
ふるさと納税に力を入れて、まずは財源確保してください。あと、市役所職員の方の業務の見直し・効率化をし、無駄な残業代が支払われていないか等もチェックしてください。大阪万博への参加は、今、財政難と言われている時に、すべきなのでしょうか。東京ドームへも参加していましたが、1日の盛り上がり以外、特に新居浜の観光促進につながったとか、そういう話はいっさい聞きませんでした。税金を使って参加するなら、しっかりと数字を出すべきです。なんとなく「大きいイベントに出ること」だけが目的なら、本当に無駄遣いです。市民のためのまちづくりを本気でやりたいと考えているのであれば、意味のある歳出をしてください。	船木	40～44歳
次回アンケートが届くかも？と考え注意しておきます。	金子	80歳以上

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
2	高校生政策アイデアコンテスト参加者	令和7年6月	高校生	42人

問1 今後、新居浜市が力を入れるべき施策について

- 1 子育て支援の更なる充実
- 2 教育力の向上

3 若者向け娯楽施設、レジャー施設の誘致

- 4 子どもから大人まで三世代が交流できる施設の整備
- 5 高齢者の生きがい支援施設の充実
- 6 市民の誰もが憩いの場となる公園の整備

7 大規模なスポーツ大会や各種イベントを開催できる施設環境の整備

- 8 観光振興によるまちづくり
- 9 企業用地の整備と企業誘致による産業の集積

10 働きやすい環境の整備

- 11 近代化産業遺産を活用したまちづくり
- 12 文化センターの建て替え
- 13 駅南地区のまちづくり
- 14 公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）
- 15 道路を中心とした都市基盤整備
- 16 商店街の再開発
- 17 シティプロモーションや移住定住の促進
- 18 市民の誰もが個性を認め合う人権尊重のまちづくり

	回答者数	回答数	割合 (%)
1	42	12	28.6
2	42	6	14.3
3	42	25	59.5
4	42	3	7.1
5	42	5	11.9
6	42	7	16.7
7	42	15	35.7
8	42	8	19.0
9	42	1	2.4
10	42	14	33.3
11	42	2	4.8
12	42	2	4.8
13	42	2	4.8
14	42	3	7.1
15	42	3	7.1
16	42	8	19.0
17	42	5	11.9
18	42	4	9.5

1位

2位

3位

問2 早期に実現してほしい市長公約について

1「まるごと子ども・子育て支援センター」の整備

- 2 学校、教員サポート制度の充実
- 3 部活動の地域移行に伴う「いはいま文化スポーツクラブ（仮称）の設立」
- 4 新しいみらいの学校づくり
- 5 学校給食の充実
- 6 ひとり親世帯など生活困窮世帯への支援
- 7 パラスポーツ・パラアートへの支援
- 8 いはいま版営業本部の活動充実と市長によるトップセールス
- 9 住友グループ企業、国・県・民間企業との連携強化、スタートアップ企業への支援
- 10 いつでもどこでもつながる「スマホ市役所」の実現
- 11 街のサイズにあった公共施設の在り方の検討・公設体育館等への空調整備導入
- 12 災害発生後の復興スピードアップのための取組の推進
- 13 災害対応のための資機材の導入（移動式空調設備や車載型トイレなどの配備）

14 近隣にはない文化施設機能を有したアリーナの建設

15 新居浜太鼓祭りの継承・発展

	回答者数	回答数	割合 (%)
1	42	11	26.2
2	42	6	14.3
3	42	6	14.3
4	42	6	14.3
5	42	6	14.3
6	42	10	23.8
7	42	2	4.8
8	42	1	2.4
9	42	4	9.5
10	42	6	14.3
11	42	3	7.1
12	42	9	21.4
13	42	9	21.4
14	42	24	57.1
15	42	21	50.0

3位

1位

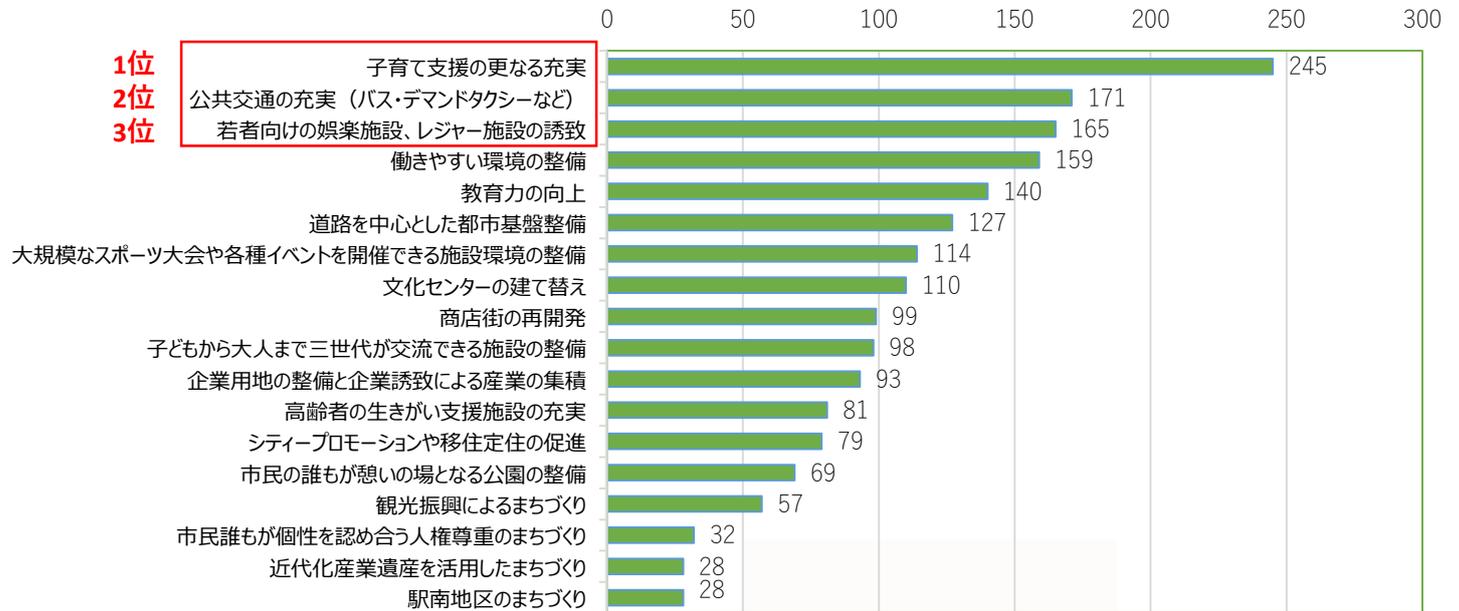
2位

問3 その他自由意見

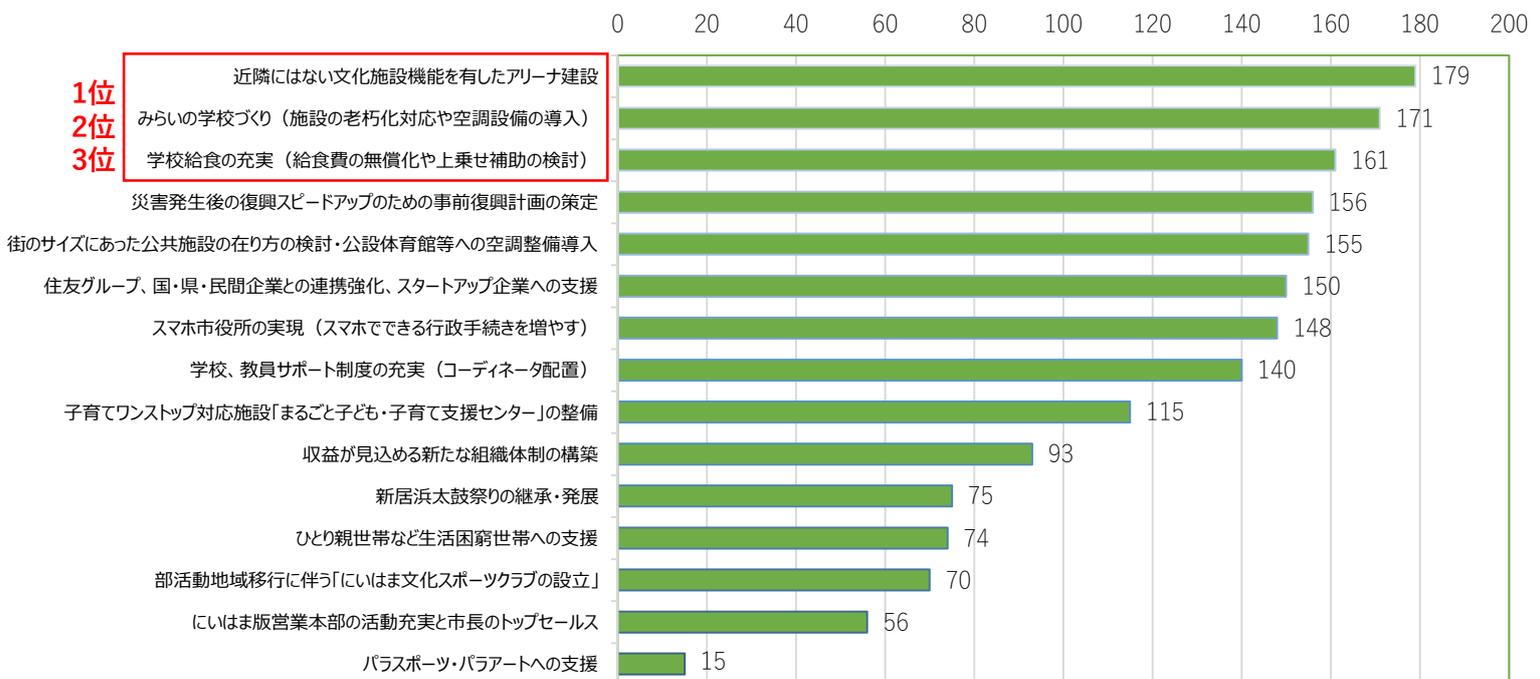
- ・図書館以外にも学生が使いやすい学習スペースを作ってほしい。
- ・放課後に勉強ができる施設を作ってほしい。
- ・市内に進学先を作ってほしい。
- ・若者が遊べる施設を増やしてほしい。
- ・高校生に太鼓台の運行に参加させてほしい。

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
3	プチモニアンケート	令和7年6～8月	比較的若い世代	608人

問1：今後、新居浜市は、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



問2：早期に実現してほしい市長公約を3つまで選択してください。



問3：その他自由意見

学校・教育・子育て関連

- 学校給食の充実について、センター方式に変更後1年経った今、実際に給食を食べている子どもたちへのアンケートの実施をし、より良い学校給食を目指してほしいです。
- 義務教育にもっと人と金を。
- 小学校のトイレが古すぎます。いまだに和式トイレばかりで洋式は1ヶ所で、休み時間には長蛇の列、我慢して授業中に駆け込む子もいるそうです。早急に対応願います。
- 小中学校の空調について、この猛暑でまだ導入してないの？子どもと教員の体調に絶対影響するので、導入してないのならすぐやるべき。
- 保育士の賃金をあげてほしい。保育士は自分の子どもを預けて他人の子どもをみています。命を預かる仕事に見合った賃金にしてほしい。
- 子育て支援では施設ではなく、保育園利用に対しての充実をお願いしたい。兄弟で違う保育園にならないようにしたり、里帰り出産時の預け先の確保など・予約もはずれて、急な対応も断られて、本当に困りました。
- 小学校（校舎内も含め全て）のトイレが汚すぎる。臭いの問題や、男女のトイレの間の壁が50センチ程度あいていたり昭和からそのままになっているのではないかと思う。校舎も年季が入って来ているが、トイレからでもきれいにしておいてほしい。
- 不登校児向けの学校以外の居場所を紹介してください。
- 小学校、中学校のトイレ整備をお願いします。工事の予算が足りないようでしたら、寄付を募るのもいいのでは？すべてのトイレが難しければ、毎年少しずつでも進めていけないでしょうか？避難所になったときも不安だし、何より小さな子どもが1日の大半を過ごす学校でトイレをガマンするのを見聞きすることがつらいです。
- 「ふるさと学習」が無くなったという噂を聞いたのですが、本当でしょうか？教育力の向上、近代化産業遺産の活用、住友グループとの連携において、重要な教育事業だと思います。子どもたちが新居浜に誇りを持てるように、学校への負担は地域等で分散しつつ、ぜひとも継続してほしいです。
- 義務教育での給食の時間、あり方、食事等のマナーなどを子ども達に教え、食のありがたさなど教育してほしい。

農業・食料・自然環境関連

- 農業の支援と拡充の補助にもっと力を入れてほしい。近隣の今治市や西条市の方が元気と感じます。
- 農業支援が全く無いことに違和感を覚えます。令和の米騒動、鳥獣による農作物の被害、食料を新居浜で作っている農家さんは猿による作物の被害でどちらが先に収穫するか、せめぎ合いの日々で毎朝畑に行くのが怖いと言っています。ただ、自分で電気柵など対策するにはお金がかかりすぎると困っています。市としてのご意見を頂戴したいです。
- 荒廃農地が多くあり、交通の妨げや安全面で困っています。何らかの対応ができませんでしょうか。
- 地球温暖化対策等、環境対策の施策が無い。市としての取り組みが求められます。

道路・交通・都市基盤関連

- 駅周辺からの交通機関の充実が必要。瀬戸内バスは現状ほど大きなサイズは必要なく、コンパクトかつ燃費の良い小型バスで十分。小型バス導入の補助を行うなど、鉄道、バスといった交通機関への補助を行い、交通難民を救えるよう対応してほしい。
- 行き止まりの道路が多すぎる。道理整備は有難いが、長く工事しても予算がかかるだけでスピード重視でないとトータル予算がかかるのでは？
- 長田交差点の信号を改善してほしい。南から右折する際、北からの車が止まらないため、右折が出来ないことがしばしばある。時差式信号にするか、右折可能の信号を付けるかして、改善をしていただきたい。
- 新居浜の11号線は、渋滞しやすいので東西線の早期開通に力を入れてほしい。新居浜は渋滞が多いので道路の開通を早めにしてほしい。
- 敷島通りが狭いし、車の交通量も多い。県道なのにとっても不便。どうにかしてほしい。特に幼稚園・小学校・中学校付近の道路が狭くて事故が起こりかねません！予算も在るでしょうが、時間帯の通行禁止など(朝夕)を早急の実施してほしい。
- 新居浜市の道路は幅が狭かったり車線が少なかったりして、近隣の西条市や今治市に比べて運転しづらいと思います。先日開通したバイパスも結局1車線しか無く渋滞が緩和したのか疑問...
- カーブミラーの新設や道路の舗装工事、水道管の確認などの日々の生活に欠かせない、そして万が一の重大事故に繋がりにくい項目の取り組みスピードを上げてほしいです。
- 公共交通機関の充実や免許返納者への優遇措置など、高齢者の免許返納にも力を入れてほしい。

イベント・観光・文化関連

- イベントやスポーツ、施設など新居浜市が遅れているような気がします。以前は県内屈指の規模とされていた花火は見劣りするようになり、イベントがあっても周辺に駐車場が無く公共交通機関利用と言われても不便なダイヤや運行コースなど利用し難い状況ではないでしょうか？
- 新居浜市の人口減少を食い止める対策及び、市外、県外からの観光客を増やす対策を考えてほしい。移住者への支援、観光施設イベントなどを考えて、経済の活性化、子どもの多い市になると良いと思います。
- 今治から新居浜に引っ越してきました。とても住みやすいところだなと感じています。街のイベント、全国から来てくれるような花火大会、ライブ施設等イベントごとを開催してほしいです！
- 観光でいえば新居浜太鼓祭りの歴史館などのところがあってもよいと思う。ちょうさ会館みたいに。新居浜太鼓祭り以外の観光にも力を入れてもいいと思う。県外、国外の人が観光にきてお金を使ってもらう取り組みをした方が新居浜市の活性化に繋がると思います。
- 新居浜の魅力開発を積極的に行い、活気ある街を市長の営業力で全国へ宣伝して、移住者や観光客が増加することで、市の財政が豊かになるよう期待します。
- 四国中にはまだないような、店舗だったり、イベントだったり、毎年力を入れて市外県外から人が集まるような町にしてほしい。例えば、ペット同伴可のイベントや店舗を集めて作ったり、登山のイベントを行ったり、海のイベントを行ったり。

高齢者・福祉・医療関連

- 高齢者や免許を返納した人のための移動手段を充実してほしい。
- 子育ても大切ですが、これから老齢期をむかえ、生きている世代に希望の見える政治をしてもらいたい。
- 高齢者も多くなってきたので福祉関係の予算を増やしてほしい。
- スマホが進みすぎて、高齢者がついていけない。
- 医療施設を充実してほしい。
- 高齢になると、出かけるのが億劫になりがち。各地域の公民館、自治会館などで出張市役所、出前講座、セミナーなどを開催してほしい。

財政・市政運営関連

- 新しく産業の中心となるような企業を誘致してほしい。
- 『身の丈にあった』『分相応な』後の世代に借金を残さないように、持続可能な新居浜市であってほしい。
- 公共事業が偏っている。もっと全体を見渡した街づくりをしてほしい。
- 市の財政が心配。無駄な公共事業をやめて必要なところに予算を回すべき。

スポーツ・運動施設関連

- 体育館へのエアコン設置を早急に進めてほしい。
- 市民プールについて、慣れ親しんできたのはわかるが今の時代にはそぐわない料金体系と思います。
- 中学校でのスポーツ(部活)への取り組みは今後どのように進んでいくのでしょうか。中学校における部活と義務教育のバランスに疑問を感じる先生の話に耳にします。

動物・ペット関連

- ペット同伴可能な施設やイベントを増やしてほしい。
- ペット可の避難所がたくさんあると嬉しい。
- 公園に犬の糞が多い。マナー向上や罰則を強化してほしい。
- 飼い猫も自宅で飼うように決めてほしい。外に野放しにしている飼い猫が車の上に乗ったりして、傷がつくのが我慢できない。

公共施設・インフラ関連

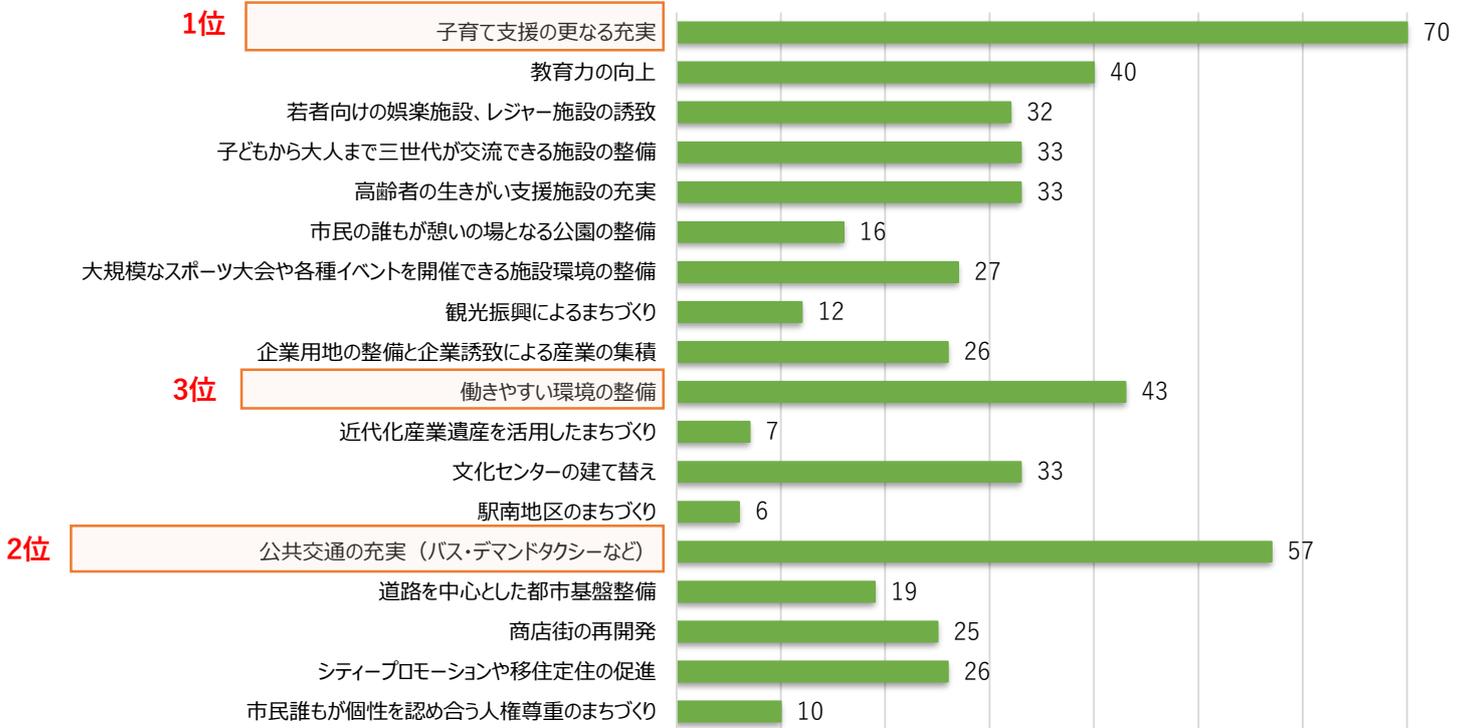
- 図書館にIC予約棚を利用して非対面・非接触で受け取れるようにする仕組みを早期導入してほしい。
- 都市公園の配置不公平感を是正してほしい。
- 小学校や中学校の教室だけでなく、体育館や武道場などにもクーラーの設置を早急にしてほしい。年々暑さも増しているし、過酷な暑さの中、工夫して授業や部活に取り組んでいるが、とても危険な状況。
- 資材高騰、職人不足と高齢化がさらに進む前に文セン跡地に新・市庁舎の建設を。

暮らし・生活全般

- 物価が高くなっているのに市民への生活支援が少ない。
- 粗大ゴミ回収を数個程度、適度なタイミングに無料でしてほしい。
- 空き家が増えていて治安や景観が悪くなっている。市として対策してほしい。
- 祭りを大切にするなら喧嘩しない、観て楽しむ祭りであるべきです。
- 治安対策や防犯カメラ設置を進めてほしい。
- 災害時の避難所の環境をもっと整えてほしい。空調・水・食料・トイレなど不安。
- 自治会に入るメリットがないのか、どんどん自治会員が減っている。早急に何らかの対応が必要なのは。
- エネルギーや行動力のある若い市民が、経済面や不活性化が慣習化した実態などを理由に、活動をあきらめるような発言を聞くことが多々あります。そんな彼らが、「この街は、まだまだ発展できる！」と思えるような「やりたいことをやれるまちづくり」を、これからも期待しています。

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
4	市政モニターアンケート	令和7年7月	市政に関心の高い中高年齢層	163人

問1. 今後、新居浜市は、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか？



**問2. 早期に実現してほしいと思う項目に○をつけてください。
（早期に実現してほしい市長公約を3つまで選択）**



問3：その他自由意見

「まちづくりの目標1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり（子育て・教育）」 に関連する市の取組について

【教育費・給食・物的支援の無償化・充実】

- ・今後も無償化の対象となる項目（主食費等）を増やしてほしい。（予算にもよるが）
- ・義務教育の給食費をなくしてほしい。
- ・給食の無償化を望みます。
- ・学校給食の質の向上を要望させていただきます。育ち盛りの子どもたちからあげ1個は可哀想すぎます。
- ・保育園のことで、3年保育からは白ごはんを自宅から持って行かなくてはいけい園があると聞きました。白ごはんも保育園で用意できたらよいのではと思います。
- ・子どもが優秀なのにお金がなく、高校や大学に行かせられない人に対して、お金を援助する制度を設けてはどうでしょうか。
- ・中高生の英語検定取得費用の援助（合格したら費用分補助など）

【教育の質・体制への提言】

- ・教育費をできるだけ負担がないように援助する、安全・安心の教育環境の整備のためにも、学校・家庭や地域の関りがもっと必要。
- ・書く力や本をめぐることも大切です。バランスのとれた教育を望みます。特に学校教育の現場で子ども達を見ている先生方からのご意見を大切に聞いてほしい。
- ・少子化である今だからこそ…平等に学びたい子が学べる環境を整えていくうえで…外部の支援者を市の方で雇い学校に導入してほしいです！
- ・学校の制服を無くしてほしい。経済的負担や多様性への配慮の観点から。
- ・教育に力を入れた独自の取り組みをしている地域へ移住する人がある。新居浜独自を模索して魅力的な教育を。

【施設・設備・環境の整備】

- ・学校の老朽化が進んでいるため、順次建て替えをしていただきたい。
- ・体育館に冷暖房機器をつけてほしい。
- ・子ども達が安心して遊べる遊具のある公園が少ないと感じます。
- ・クールスポットの設置や自動音声による定期的な給水の呼びかけ等…暑くても利用を促進できる設備の設置を。
- ・中学校図書室に司書を配置してほしいです。
- ・森の幼稚園のような自然をフル活用した幼児教育を。
- ・子どもや親が息抜きのできるようなレジャー施設を増やしてほしい。

【子育て支援全般・制度・相談環境】

- ・子育ての悩みなどを相談できる場所をいつでも行けるよう周知してほしい。
- ・子育て支援の対策が他の市に比べて手薄だと感じます。
- ・子育てや教育に関わる人材の確保が急務。
- ・子育てにはお金がかかります。児童手当からさらに市として子ども一人当たり手当を出すように。
- ・子育てや教育も大切だが、どうやって新居浜で子どもを産んでもらえるか…を先に考えるべき。
- ・子育てしやすい街になると嬉しいです。
- ・子どもが増えるような対応も必要。

【学校教育の工夫・特色づくり】

- ・小学校から個人のレベルに合った教育体制づくり。
- ・子どもに合わせた教育（授業）。できない子はずっとできないまま、できる子は授業中座っているのが苦痛。
- ・学力に対してはとても開きがある。ついていけない児童にも、勉強は楽しいものとわかる教育を。
- ・体験型学習の少なさ。あかがねミュージアム等で都会と同様の展示会を。
- ・松山市の教育型学童クラブのような総合的な取り組みを。
- ・普通科の高校が減っている現状に対応し、進路を限定せずに選べる教育体制を望む。

【子どもの遊び・交流・地域参加】

- ・子どもが安心して遊べる公園が市の中心に少ない。
- ・のびのびと遊ぶことができる公園があればと思います。
- ・子どもがのびのびと安全に参加できるイベントがあるといい。
- ・自治会や地域でもっと子どもたちと地域の人との交流が盛んになると良い。
- ・下校時の見守り隊の方がよく見られるようになりました。とても良い光景です。

【地域や行政への提言】

- ・PTAや各種クラブ等には参加するが、自治会は敬遠されがちで、子どもの地域密着が薄れている。
- ・自治会等にも問題あるが、地域文化の継承に影響がある。
- ・子どもは未来の宝。市が率先して子育てや教育の支援を。
- ・市の教育行政が児童、生徒に寄り添っていない。原点に立ち返った取り組みを。

「まちづくりの目標2 健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり（健康・福祉）」 に関連する市の取組について

【健康づくり・健診・予防医療】

- ・健診を無料にしてほしい。
- ・健康診断の項目の、ガン検診の無料対象者を増やして検診者数を増加させる。
- ・特定健康診断など国保の取り組みが助かっています。もっとサポートいただければ嬉しいです。
- ・健康診断の充実化。
- ・健康寿命を保っていくための取り組みの強化。
- ・健康でいきいき暮らすために、会社での健康診断を会社負担でしてほしい（パートは対象外で負担が大きい）。
- ・ワクチンの補助などを先行して補助し、予防効果を出す。
- ・公民館等での健診の実施等充実している感はあります。
- ・救急医療の充実と医療機関の幅広い告知。

【高齢者福祉・介護・見守り】

- ・老老介護や独居老人など、高齢化社会でとても苦しんでいる方が多いと思われる。特に暑い夏など、体調の変化への見守りの強化が必要。
- ・高齢化が進む中、地域医療や救急体制の強化もしてほしい。
- ・介護保険を使っていない独居の高齢者を見守るシステムの充実。
- ・高齢者の行き場をもっと増やしてほしい。観劇、コンサート、落語などの娯楽も必要。
- ・高齢化社会に対応した独居老人世帯の見守り・保証人・看取り・埋葬・遺品整理までの制度の充実。
- ・親が短期間ではあるが介護でお世話になったが、手厚い支援に感謝している。
- ・介護などの情報が少ない。相談先もわからない。
- ・介護認定をもらえない人のためにデイ・ケアのような楽しむ場を設けてほしい。
- ・高齢者が多いので福祉施設の数を増やしたり、介護士の待遇改善を行うことが大事。

【健康体操・運動・交流の推進】

- ・PPK体操は体の健康だけでなく、近所との交流で心身ともに元気になれる。もっと広めてほしい。
- ・子どもから高齢の方まで覚えられるオリジナルの健康体操を市内に広めては？
- ・高齢者だけでなく、運動不足の若い人も参加できる無料の体操教室などを増やしてほしい。
- ・一人でも継続してできるスポーツに対し、ポイントを付与するなど、支援を考えてほしい。
- ・土日誰でも参加しやすいスポーツ交流や簡単な試合を通して、健康と市民交流を促進。
- ・ラジオ体操など、子どもや高齢者などが集まって行う場を。
- ・健康年齢を高める市を目指し、定期的な健康体操や測定を医療と連携して行ってほしい。
- ・健康に関心のない人も参加したくなるような親子・家族・カップルで楽しめるイベントが必要。
- ・ウォーキングイベントが単発で終わることが多く、継続性のある取り組みが必要。

【福祉・相談・つながりの場の確保】

- ・気軽に相談できる窓口があればうれしい。
- ・精神障がい者からの被害相談窓口の設置。
- ・地域で交流できる場所（空き家などの活用）を整備してほしい。
- ・高齢者、子育て世代、学生などが集まれる場所、そこからゆるやかなコミュニティ形成を。
- ・自治会の活性化が市の施策に直結する。自治会の疲弊を立て直す必要がある。
- ・地域の人が協力しあう場や、実行できる機会を主導してほしい。
- ・学校の行事に福祉施設との交流を自然に組み入れてほしい。

【福祉と交通の連携・支援】

- ・バス（路線）をサブスクにしたらどうか。高齢者の外出回数が増え、健康にもつながる。
- ・お年寄りの移動手段として、バス・デマンドタクシーの整備を強化してほしい。
- ・安心して生活できる環境の整備（買い物・通院など）。
- ・市民全員参加可能な催し物体制づくりが大切。財政面の支援も必要。

【福祉の仕組み・市施策への提案・評価】

- ・福祉が充実して誰もが住みやすくなるとういなと思う。
- ・色々考えて取り組んでいただいていると思う。
- ・保健センターさんが色々してくれて充分です。
- ・福祉施策は人の一生をつながりで見えるようにしてほしい（少子高齢化対策がバラバラに見える）。
- ・福祉や介護、子育てが充実するなら少々の住民税負担も構わない。
- ・支援の必要性について、現場・地域で本当の意味での支援対象を見極めるべき。
- ・福祉に関する補助金カットが多い。立候補時の「人にやさしい街づくり」と矛盾。

【その他（福祉関連）】

- ・公営施設の割引制度、タクシー券の申請をオンラインでもできるようにしてほしい。
- ・市民が利用できるジム施設を建ててほしい。コーチも常駐し、交流も生まれるような形で。
- ・学校給食施設の転用などで高齢者の活動拠点に。（ウォーキング、ゲートボールなど）
- ・アリーナ、文化センターの新設。現在の施設が古く中途半端。

「まちづくりの目標3 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり (経済・雇用)」に関連する市の取組について

【雇用創出・企業誘致に関する意見】

- ・企業誘致方法、場所を確保することを検討してほしい。
- ・働く所を増やしてほしい。
- ・企業誘致が一番である。従業員待遇アップが活力アップにつながる。
- ・企業の誘致を早急に進め、雇用を増やし若者の市内定着を図る。
- ・大規模なショッピング施設や企業の誘致。
- ・積極的に企業の誘致を行ったり、インフラの整備を実施。
- ・エネルギー、埋立（場所）、運搬道路の整備。
- ・活力とにぎわいに満ち、魅力ある職場とは、雇用の拡大が基本かと思えます。是非雇用拡大に繋がる流通設備、ルート、工業用地等へのインフラ整備への市全体構想を作成した取組みが必須です。
- ・登り道サンロード周辺にもう一度、お店を集めて商店街を復活させ、夏祭りなどの風物詩を復活させてほしい。
- ・昔は企業が参加する街のイベントがあったが、今は個人の有志ばかり。市が主催して企業も参加する行事を開催してほしい。

【若者・女性・高齢者の雇用促進】

- ・大学などで県外へ出た女性が、地元へ帰って来られる雇用を作ることが人口減少の予防になる。
- ・若い方が新居浜に戻って働きたくなる環境づくりに寄与してほしい。
- ・女性が働きやすいフレックスタイム制のある正社員募集を増やしてもらいたい。
- ・高齢者を雇用する企業がもっと増えていくように市の方で働きかけてもらいたいと思う。
- ・まだまだ元気な高齢者に働いてもらう、また学生の職場体験のあり方を変えてはどうか。

【雇用環境・待遇に関する意見】

- ・多様な働き方が認められて、それが実現できるような雇用形態を実現してほしい。
- ・納得して働きやすい場所が増えると嬉しいです。
- ・子供の体調不良時にも、気兼ねなくお休みをとることができる環境整備をしてほしい。
- ・働く側の、働きやすいも大事だが、自社で働いて欲しいと思えるような優秀な人材を育てる方が先なのでは？
- ・雇用の充実が果たされているのか疑問。住友の町と言われる新居浜市で、もし住友がいなくなったらとの危機意識はあるのか。

【就職活動・採用に関する意見】

- ・年齢を理由に面接で断る前に求人に記載してほしい。
- ・息子が地元へ帰り、就職希望で市の試験を受けます。未来ある若者への採用強化をよろしくお願いします。
- ・非正規雇用から正規雇用への道が開ければ、経済的にも豊かになる人が増えるのではないかと。民間に先駆けて市の会計年度職員から制度を試行してほしい。
- ・若者が就職できるまちづくりをしてほしい。

【経済活性化・地域のにぎわいについて】

- ・市全体が活性化しないと、お金を使いたくと思えない。（自営業・飲食業）
- ・市の財政にゆとりがないと福祉や教育も十分な取り組みができない。市民一人一人の経済的ゆとりが新居浜市の活性化につながる。
- ・コストコが新居浜に来ていれば雇用も生まれたのに残念。
- ・あかがねポイントは馴染みがなく使いづらい。PayPayのような形で「新居浜独自のあかがねPay」のようなものを希望。お金が回る良い市に期待している。
- ・昔の昭和通り（登り道商店街）は何処へ行ったのか？
- ・駅前が開発が物足りない。もっと商業施設が固まっていればよかった。

【労働と人づくり（教育・人材育成）への視点】

- ・働いてもすぐ辞める若者が増えている。若いうちに働く経験をして、働くとはどんなことか体験する機会を大切にしてほしい。
- ・企業も社員の育成のやり方を、今の時代に合った形に変えてほしい。
- ・簡単なことではないが、人づくりが雇用を増やすことに繋がるのではないかと。
- ・ものづくりに特化したイベントは良かった。子どもの地域への愛着心も育つ。体験できる仕組みづくりを希望。

【全体的な仕組み・都市戦略への期待】

- ・活気のある街、住みやすい街、誇りに思える街にすることが経済・雇用の向上に繋がる。全分野の支柱を整え、仕組みとして噛み合う構造が必要。
- ・地元の人が集まれば、他の地域の人も集まってくる。活気を継続すれば、点が線になり、いずれ面になる。独自の仕組みを作してほしい。
- ・行政の役割は住みやすい地域づくり。企業が進出したいくなる環境、そのために人が集まる住みやすい地域にすることが重要。

「まちづくりの目標4 安全・安心・快適を実感できるまちづくり (都市基盤・防災・防犯・消防)」に関連する市の取組について

【 防災対策・備蓄・避難体制 】

- ・防災・防犯・消防を強化してほしい。
- ・防災用品を各家庭に配布・補助してほしい。
- ・防災士として防災には興味がある。防災センターで体験してみたいが一人では勇気が出ない。市政モニターなどで参加したい。
- ・市民で一致団結した行動が大切。財政面のバックアップが必須。
- ・避難所の場所の周知。市の防災グッズ販売もしてほしい。
- ・災害時に必要な施設・設備・備品を校区単位で早急に整備してほしい。
- ・市民一人一人に避難場所を割り振るなどの対応を。
- ・簡易テントの用意（1世帯に1～2個）など避難所でのプライバシー確保を。
- ・避難所となる学校や公民館の簡易ベッド・トイレ・仕切りなど、避難者のストレス軽減の備品を市が把握し、配置してほしい。
- ・小中学校の引き渡し訓練の必須化、防災センターの活用を。
- ・公共空間に2週間分の緊急物資を有料で良いので備蓄し、期限前には無償提供を。
- ・防災ラジオの補助金制度を復活させてほしい。
- ・自治会加入率の減少に対し、10～20世帯程度の小規模集合体での確認体制も有効では。
- ・防災士の各地区での育成が必要。
- ・民間防災組織を地域ごとに立ち上げ、活動内容に応じて助成金を。
- ・大きな災害が起きた時の対応について市の計画がわからない。市が先導して計画実行し、広く周知してほしい。

【 防犯・地域安全 】

- ・事件や事故が多いと感じる。自発的な防犯の取り組みが必要。
- ・団地内での盗難被害（郵便物・ベランダの野菜など）。監視カメラの設置を。
- ・不審者情報の発信をもっと積極的に。
- ・空き家の整理は防犯にもつながる。
- ・防犯はご近所づきあいの向上が大切。市が率先して地域のコミュニケーションづくりを。
- ・自治会に入ることの意義を市としてもっと説明し、危機対応のための重要性を伝えてほしい。
- ・精神障がい者からの被害を相談できる窓口の設置、市長からの保護命令など対応体制を。

【 消防・消防団・訓練 】

- ・狭い道が多く、消火活動が心配。
- ・消防団の訓練に対する予算削減が次世代の育成に影響。大災害時には人手が不足する。
- ・防災・消防など整っていると思うが、今後も強化してほしい。

【 インフラ・都市基盤整備（道路・街灯など） 】

- ・生活道路の整備、事故防止のための道路標識の点検を。
- ・高専通りの植樹帯の雑草が自転車道に出ていて危険。年による調整を。
- ・河川の植物の刈り取りや堆積土砂の浚渫を継続してほしい。
- ・背の高い雑草が見通しを悪くし事故が心配。定期的なパトロールと除草を。
- ・国・県・市道問わず、予算を調整して市が一括で対応するような工夫を。
- ・11号バイパスの中央分離帯が無駄に広い。片道2車線にしてほしい。
- ・四国新幹線について、合理的なルートの検討と、現駅周辺の活用についての意見。
- ・駅前が以前より寂れている。整備や飲食店の再興を望む。

【 自治会・地域コミュニティ・共助 】

- ・ご近所同士の助け合い、コミュニケーションづくりが重要。
- ・自治会の役割や重要性を市政だより等で伝えてほしい。
- ・自治会に加入しなくても参加できるような防災の取り組みの検討も必要。
- ・自治会長・連合自治会長を職業化し、補助金を支給する仕組みを検討しては。
- ・防災教育を自治会ごとで進めてほしい。団結力の低下が心配。
- ・定年後に外出が減った高齢者が情報を得られる場づくりを。

【 その他提案・広報・啓発 】

- ・防災センターは良い施設。広報をもっと強化し、市の魅力としてアピールを。
- ・大きな寮がある会社・学校の寮生向けに、防災センター体験を促しては。
- ・防災に関する情報や備えについて、定期的に公開して安心を高めてほしい。
- ・今治の山火事のような災害に対するシミュレーションがあるか知りたい。開示してほしい。

「まちづくりの目標5 人と地域のかで豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり (人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ)」に関連する市の取組について

【協働・地域コミュニティに関する意見】

- ・自治会加入率が低下している。コロナの影響で地域行事が減ったのも原因。ゴミ問題等、市全体で取り組む方法があれば良い。
- ・様々な団体が手を取り合って共に目標達成に向かう形が具現化するようサポートしてほしい。
- ・協働については、市と市民との協働が予算削減に伴い機会が減少している。少ない予算でも成果を生むよう知恵を出して協働の場を広げてほしい。
- ・市民の活動をサポートする仕組みや組織が必要。得意分野の愛好家やボランティアが中心となった組織を市が支援するイメージ。
- ・公民館を基盤としたまちづくり・人づくりのアイデアを持つ人を集め、プレゼン大会を開催してはどうか。

【社会教育・生涯学習に関する意見】

- ・生涯学習センターの活動は60歳以上が対象なので、若い人にも学べる機会がほしい。
- ・子育て世代や若年層の生涯学習参加が少ないので工夫してほしい。
- ・学び塾が毎日あればいいのにと子どもが言っている。
- ・赤石山系の地質や高山植物について展示している「ふるさと館」に学芸員クラスの人員を配置してほしい。
- ・学び合いなど公民館の活用を進めてほしい。
- ・市内のサークル紹介は文字が小さくて高齢者には見づらい。太字や展示場所の工夫を。
- ・高齢者が参加しやすい講座を増やしてほしい。元気な高齢者が多いので楽しい企画がもっとあるとよい。

【文化・芸術に関する意見】

- ・あかがねミュージアムでの文化教室がなくなったのは残念。立派な施設をもっと活用して市のイベントを増やしてほしい。
- ・市民が芸術に触れる機会が少なく、マナーも課題。特に子どもが芸術に触れ合える教育機会を増やしてほしい。
- ・プロの芸術（オーケストラコンサートなど）に触れられる機会を増やしてほしい。
- ・文化センターは老朽化しており、音響などが遅れている。現代の技術を取り入れた新しい施設にしてほしい。
- ・オペラも可能な貴重なホールがあるが活用が少なく、芸術文化への理解や機会の増加を望む。
- ・文化施設を分散するより、歴史ある文化センターの立て直しで集約すべき。
- ・市民全体に関係のあることを考えた文化政策を。
- ・短期大学や文化センターを活用してコンサートなどを開催してほしい。

【スポーツ・健康づくりに関する意見】

- ・小中学校のグラウンドや体育館の施設開放でスポーツを楽しむ人が増え、非常に良い傾向。
- ・健康は薬ではなく、筋肉を動かして体の内側から活力を生むことが一番。
- ・本格的にスポーツをする子ども向けに、しっかりした施設（例：体操競技など）が必要。
- ・プロスポーツを呼べるレベルの施設を整備し、町の活性化を図ってほしい。
- ・市民体育館の設備や駐車場が他市に比べて劣る。フットサルなどの応援がしやすい環境を。
- ・体育館にエアコンを設置してほしい。
- ・スポーツ大会の誘致は大切である。
- ・総合運動公園のような大規模施設が必要。
- ・スポーツに力を入れるなら、サッカー場や野球場の活用や整備の検討を。
- ・夜市の復活や、キッチンカーと組み合わせた健康増進型のスポーツイベントを。
- ・Jボードやリップスティックができる環境の公園を黒島公園以外にも。

【施設整備・活用に関する意見】

- ・文化センター、アリーナ、市民体育館などの整備・建て替えを進めてほしい。
- ・多くの意見を聞き、将来の地域予測や財政負担などを踏まえた施設整備を。
- ・新しい施設は市民（将来の市民）のために何が必要かを考えて建てるべき。
- ・市民プールは老朽化が進んでおり、見た目や安全性の改善を。屋内化も視野に。
- ・使われていない地域のホールやスペースも有効活用してほしい。
- ・あかがねミュージアムの前に文化センターの再整備をすべきだったのでは。
- ・簡単で使いやすい施設が増えると嬉しい。
- ・市の取り組みが現状維持フェーズに見える。もっと積極的に整備を。

【子ども・若者の育成・参加促進に関する意見】

- ・子どもが自由に参加できるイベントを増やしてほしい。
- ・子どもがスポーツや芸術に触れる機会をもっと作ってほしい。
- ・子どもが安心して通学できるよう、7月だけでもスクールバス導入を（費用は家庭負担でも）。
- ・学び塾が毎日あるといいという子どもの声。
- ・子どもを中心に据えた社会教育や文化活動の充実を。

【人権・道徳・市民性に関する意見】

- ・人権も重要だが、道徳も大切。人に気を使える人、優しい市民が増えてほしい。
- ・新居浜市は人と人の挨拶が少ない。挨拶があれば孤立する人も減るのでは。
- ・人権やLGBTQについて、活動が形骸化していないかという批判的視点も。

「まちづくりの目標6 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり (地球環境・生活環境・上下水道)」に関連する市の取組について

【上下水道の整備・老朽化対策】

- ・新居浜市では地下水を生活用水としている家庭がたくさんあるためか、下水道の整備が遅れているように思う。
- ・下泉には、まだ下水道が整っていません。遅すぎると思います。
- ・市内全域に公共の下水道を通して欲しい。衛生面でも浄化槽よりも良いため。
- ・上部の下水道が通っていない地域への早急な対応を進めてほしい。
- ・下水道が通っていないことを理由に、引越先を考えたりのるので、重要だと思う。
- ・下水道整備に関して、大生院地区には通らず浄化槽を埋めなければならない状況と聞いています。市内全域に下水道が通り、快適に過ごせる町であって欲しい。
- ・下水道に関して可能な限り本管接続支援希望します。
- ・現在宇高に住んでいますが、下水道が未設置で、用水路(排水)が多く暗渠されているところが少ない。洪水時には出歩くことができない。
- ・上水道に使用する、各水源の水質検査表を「毎年」市政だよりで発表してほしい。
- ・水道管の老朽化など気になります。どんな対策や点検をしているのか知りたい。
- ・全国各地で水道管の破裂や破損等が原因と見られる道路の陥没等のニュースを目にしますが、新居浜の下水道管の老朽化などの点検作業は早急に進める必要があると思います。
- ・水道の問題は劣化により破損の恐れがあるのではないかと思います。その工事をする業者もきちんと平等に公表しながら適正に選出してほしいです。
- ・水道配管の老朽化などの情報が欲しい。
- ・水道は絶対に民間にしてはいけない。利益のための大幅な値上げで人が住めない土地になる。水道管交換のための多少の値上げなら許容。

【ゴミ・リサイクル・資源循環】

- ・ゴミになるような物を作らないように企業に呼びかける。
- ・ゴミ分別を子供の頃から身につけさせるなど工夫してほしい。
- ・ゴミリサイクルの可視化。電気料金のように支払わなければ止まる、支払えば即可動するシステムの導入。
- ・他県のゴミの分別に比べると新居浜で全然分別していない。分別によって資源にできるものを明確にし、有料化から外す工夫が必要。
- ・ゴミの収集場所をねらってカラスがゴミをちらかします。黄色のネットに替えて効果が出たと聞きます。検討して下さい。
- ・私の近所ではカラスや野良犬がゴミをあさり道路に散乱しています。網が掛けられないのでゴミステーションを作ってほしい。
- ・ゴミ拾いをイベント化すべき。パトロール強化も望む。
- ・スーパーなどで資源ゴミを回収してくれるのが非常にありがたい。
- ・コンポストの取り組みをもっと盛んにし、利用者が増えるようさらに働きかけしてほしい。
- ・ゴミの有料化は高齢者には難しく、ゴミ屋敷になりそうな家が増えている。
- ・庭の木や草の伐採ゴミを無料で受け付けるなど、市での取り組みがあれば嬉しい。
- ・リサイクル率を上げるための方法を考えて。特に住友グループにはノウハウがあると思う。
- ・地球環境について、少しでも役に立つことがあれば、PRをして協力できる体制をつくってほしい。
- ・香川県の設備を参考にゴミ処理施設を改善する。

【環境・自然との調和】

- ・自然は豊かなので、このまま大切にしてほしい。
- ・地球環境問題やSDGsの考え方が、多くの市民に広がってきた。常設の拠点(例：松山市「リックル」)があると良い。
- ・地球温暖化の影響で、雨の降り方が激しくなっている。河川や下水道の老朽化など早めに改善してほしい。
- ・異常気象や高温化への対応として、CO2削減への取り組みは必須。
- ・空き家の庭木等が生い茂り、近隣の方が困っている。市の対応を進めてほしい。
- ・荒れ放題の空き地をどうにかしてほしい。
- ・空いた農地を貸し出す取り組みをもっと魅力的にしてほしい。食品価格高騰もあるので。
- ・犬猫の殺処分を減らすための地域猫活動、去勢手術の援助を。
- ・河川の氾濫対策を再点検してほしい。草がはえたり、ゴミがたまっている。
- ・子どもが通る通学路や学校付近の草木の手入れをして欲しい。視界不良で危険。
- ・柵で囲まれ遊具がない公園(遊び場)がほしい。小さい子の安全のために。
- ・安価なバスの便を増やしてほしい。自家用車依存の緩和につながる。
- ・市営住宅で住めない状態の物件が放置されている。整備が更地に。防犯面でも問題。

【再生可能エネルギー・設備支援】

- ・再生可能エネルギー・省エネルギー設備導入に対する支援にとっても期待しています。

【市民活動・教育・啓発】

- ・市の下水道施設を見学しましたが、すぐく取り組まれていると思いました。汚物リサイクルの有効活用が進むとよい。
- ・海岸清掃をしている人に企業とコラボで帽子などを贈ると良い。
- ・環境教育や子どもが自分事として捉えられる体験を、年1回でなく定期的で開催してほしい。
- ・歩道など花や木、ボランティアなどで手入れしていただきありがとうございます。

「計画の推進（持続可能なまちづくりの推進・行財政運営）」に関連する市の取組について

【 持続可能なまちづくりの視点からの意見 】

- ・人口減少に伴い長期で計画していても、ある程度柔軟にかたまらず計画を見直せることが持続可能なまちづくりにつながると考えています。
- ・新居浜で生活やレジャーが自転車や徒歩圏内で成り立つような市全体のまちづくりが必要だと思います。
- ・100年前に新居浜の将来を考えて改造計画を実行、そのお陰で今の新居浜があると思います。今まさに持続可能なまちづくりのために、これから何が必要かを市民と一緒に取り組んでいく時だと思います。
- ・人づくりとでも言うのでしょうか。根幹となるしっかりとした取り組みをひとつずつ実践し、芽が出るようにお願いします。それが持続可能につながると思っています。

【 行財政運営・財政の健全化に関する意見 】

- ・市の財政は厳しいのでしょうか？そうではなくて余裕が少ないだけなのでしょうか？
- ・新居浜市の貯金です。全国平均50億程度のところ、現在はその1/3程度だそうです。市の財政が厳しいのなら、無駄なところを見直して必要なところへ回す努力をお願いします。
- ・利権を排除した「徹底した無駄の排除！」これがどこまでできるかだと思います。例えば、誰も乗っていない大型バスの廃止とデマンドタクシーの活用。
- ・色々なことをするには原資が必要です。市民プールの値段は今の世情にはそぐわないと思います。今まで10円で、風物詩みたいになっていますが安すぎると思います。

【 市の計画推進・情報公開・市民参加に関する意見 】

- ・市の活動がよくわかるように、市政だよりの充実。
- ・長期総合計画「まちづくり7つの分野」の各種施策の推進、大変いいものだと思います。
- ・具体的な取り組みを存じ上げないが、こうやって7本柱で提示されていてわかりやすい。ぜひ推進してほしいです。
- ・市政モニター員との個別説明会、意見交換会を実施してほしい。文言だけの資料を見ても理解しにくい。個別説明会の開催を強力に要請します。
- ・タウンミーティング以外にも市民の声を聞く機会を多く設けていただきたい。アメリカのドキュメンタリー映画「ボストン市庁舎」のような取り組みを期待しています。
- ・市民アンケートや公募を頻繁に行い、市民参加の街づくりを構築して行って欲しいです！

【 産業振興・移住定住・若者支援など施策提案 】

- ・優秀な人材が都市部に流出している。新居浜に骨をうずめようという人を増やすための施策を考える必要がある。
- ・市がもっと財政を豊かにする営業活動をすべき。減税ができるように。
- ・移住、定住できる町づくりをしてほしい。
- ・若者対象に起業支援を。多くの具体的な対策が必要です。
- ・未来の子ども達にかける助成は惜しまずかけてほしいです。
- ・若者が住みたくなるようなまちづくりができればいいなと思います。
- ・年中財政が安定できる目玉となる特産物を公募して見つけ、そのキャラクターも公募して決めて、それと一緒に全国に宣伝していければいいなと思います。

【 その他・気になる取り組みの停止・要望 】

- ・住友グループとの令和の共存共栄に期待。営業本部の活用やトップセールスに期待。
- ・大阪万博パビリオンの住友4社の「未来のタネ」の情報入手をお願いしたい。
- ・誰も住まないのに市内にバンバンマンションやアパートを建てても、新居浜でマンションなんて資産にならない。
- ・メガソーラーのパネル廃棄、盗難、温度上昇等によるリスク。最終的に会社が撤退し撤去もできなくなる危惧あり。

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
5	まちづくりタウンミーティング参加者	令和7年7～9月	市政に関心の高い中高年齢層	414人

問1 今後、新居浜市が力を入れるべき施策について

	回答者数	回答数	割合 (%)		
1子育て支援の更なる充実	1	414	141	34.1	1位
2教育力の向上	2	414	80	19.3	
3若者向け娯楽施設、レジャー施設の誘致	3	414	40	9.7	
4子どもから大人まで三世代が交流できる施設の整備	4	414	56	13.5	
5高齢者の生きがい支援施設の充実	5	414	61	14.7	
6市民の誰もが憩いの場となる公園の整備	6	414	35	8.5	
7大規模なスポーツ大会や各種イベントを開催できる施設環境の整備	7	414	80	19.3	
8観光振興によるまちづくり	8	414	55	13.3	
9企業用地の整備と企業誘致による産業の集積	9	414	100	24.2	
10働きやすい環境の整備	10	414	86	20.8	
11近代化産業遺産を活用したまちづくり	11	414	35	8.5	
12文化センターの建て替え	12	414	105	25.4	3位
13駅南地区のまちづくり	13	414	26	6.3	
14公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）	14	414	122	29.5	2位
15道路を中心とした都市基盤整備	15	414	81	19.6	
16商店街の再開発	16	414	42	10.1	
17シティプロモーションや移住定住の促進	17	414	33	8.0	
18市民の誰もが個性を認め合う人権尊重のまちづくり	18	414	18	4.3	

問2 早期に実現してほしい公約について

	回答者数	回答数	割合 (%)		
1「まるごと子ども・子育て支援センター」の整備	1	414	108	26.1	
2学校、教員サポート制度の充実	2	414	95	22.9	
3部活動の地域移行に伴う「こいはま文化スポーツクラブ（仮称）の設立」	3	414	46	11.1	
4新しいみらいの学校づくり	4	414	78	18.8	
5学校給食の充実	5	414	38	9.2	
6ひとり親世帯など生活困窮世帯への支援	6	414	48	11.6	
7パラスポーツ・パラアートへの支援	7	414	8	1.9	
8こいはま版営業本部の活動充実と市長によるトップセールス	8	414	88	21.3	
9住友グループ企業、国・県・民間企業との連携強化、スタートアップ企業への支援	9	414	143	34.5	2位
10いつでもどこでもつながる「スマホ市役所」の実現	10	414	34	8.2	
11街のサイズにあった公共施設の在り方の検討・公設体育館等への空調整備導入	11	414	92	22.2	
12災害発生後の復興スピードアップのための取組の推進	12	414	129	31.2	3位
13災害対応のための資機材の導入（移動式空調設備や車載型トイレなどの配備）	13	414	105	25.4	
14近隣にはない文化施設機能を有したアリーナの建設	14	414	149	36.0	1位
15新居浜太鼓祭りの継承・発展	15	414	59	14.3	

問3：その他自由意見

①宮西校区 アンケート回答数34（令和7年7月1日開催）

- ・文化センターもぜひ建て替えをお願いしたい。
- ・文化センターを早急に整備すべき。銅夢にいほまを商店街に任せきりにせずに取り組んでほしい。
- ・自治会の加入減少が見られる。自治会加入のメリットを説明してほしい。
- ・太鼓台の魅力を丁寧に説明して広めてほしい。
- ・古川市長に期待している。
- ・スライドの内容をプリントにして配布してほしい。週末、休日に人があふれるくらいの魅力あるまちづくりをしてほしい。

②船木校区 アンケート回答数26（令和7年7月3日開催）

- ・自治会活動を活性化するためには、長寿の方への費用（敬老会への補助など）をおしまないでほしい。
- ・自治会を離脱する人が増えている。この問題への対応について好事例があれば、状況提供してほしい。
- ・地域コミュニティの中心である公民館の施設等運営の充実が今からは大切である。

③大島校区 アンケート回答数13（令和7年7月5日開催）

- ・少子化に対しての公約が沢山見られるが、高齢化に対しての公約が少ないと思う。そちらも何か考えてほしい。
- ・大島一周道路を定期的に整備してほしい。
- ・渡海船の時間を見直してほしい。

④多喜浜校区 アンケート回答数33（令和7年7月8日開催）

- ・高齢化時代に沿った自治会活動への支援を検討してほしい。（自治会加入者の減少等）
- ・自治会に入らない人が増えている。自治会に入らない人も含めた新しい組織を模索する必要がある。
- ・自治会脱退者が相次いでおり、近隣で加入している世帯がない状況。何とかしてほしい。
- ・自治会に入会した際には住民税を引く（500円等）などメリットがなければ自治会がなくなるだろう。

⑤別子校区 アンケート回答数14（令和7年7月11日開催）

- ・別子は山間部なので災害がひどくなりやすい。災害対策を手厚くしてほしい。

⑥中萩校区 アンケート回答数35（令和7年7月14日開催）

- ・自治会に入会する人が少なくなっている。市から何らかの援助が必要。
- ・市が自治会に仕事を丸投げしないで、市が直接やってほしい。
- ・市が歩行型草刈り機や、乗用草刈り機を購入して、地域コミュニティ団体に貸してほしい。災害時にも使える。
- ・自治会未加入者は自分たちでゴミステーションを確保してほしい。
- ・少子高齢化で自治会加入が少ない。特に若い子が自治会に加入しないので、何か考えてほしい。
- ・希薄化が進んでいる地域住民の交流を強化してほしい。
- ・ゴミ収集に力を入れてほしい。
- ・耕作放棄地、空き家の活用を進めてもらいたい。ゆるやかな繋がり小さなコミュニティ作りを進めてもらいたい。

⑦大生院校区 アンケート回答数21（令和7年7月17日開催）

- ・大生院の市営住宅（団地）を再開発してほしい。東田、治郎丸の市営団地があれば、交通利便性も良いので大生院の人口増につながると思う。
- ・高齢者の足の確保のため、コミュニティバスを導入してほしい。
- ・落ち葉や庭木の剪定くずを焼却するのではなく、腐葉土化したり循環して、野菜や花づくりをする環境、仕組みを作してほしい。

⑧泉川校区 アンケート回答数21（令和7年7月22日開催）

- ・白いものブランド化、新居浜の観光開発、ふるさと納税のプラス化（返礼品開発）に取り組んでほしい。
- ・太鼓祭りに中高生が参加できるようにしてほしい。
- ・全く農地のない場所の農道は市道に変更してほしい。
- ・自治会加入世帯が激減している。自治会存続のための施策、市民への加入アピール
- ・情報提供の充実に取り組んでほしい。
- ・自治会員が減っているので、準会員でも参加できるメニューを増やしてはどうか。役員の負担が重くならない仕組みも必要。
- ・連合自治会よりも単位自治会に対する支援に重点をおいてほしい。
- ・高齢者への施策は後回しでいいので、子育て支援を充実させてほしい。
- ・子育て世代への支援に集中してほしい。自治会は、ゴミ、防犯、子育て支援の3つに絞って取り組んでほしい。

⑨若宮校区 アンケート回答数9（令和7年7月24日開催）

個別意見なし

⑩惣開校区 アンケート回答数7（令和7年7月28日開催）

個別意見なし

⑪新居浜校区 アンケート回答数26（令和7年7月30日開催）

- ・別子山では納める介護保険料が同じであるにも関わらず、使えるサービスが他市依存になっていることが気になる。
- ・公民館の実情を知っていただきたい。総会もしない自治会もある。
- ・自治会員の減少で地域の活動が縮小されている。魅力ある自治会を望む。

⑫金子校区 アンケート回答数28（令和7年8月1日開催）

- ・登録する必要のない子供が集いやすい場所を増やしてほしい。
- ・SNSやLINE公式アカウントでの情報発信を強化し、子育て世代の参加促進を促してほしい。学生ボランティアなどの募集をしてほしい。
- ・小中学校の衛生環境の整備、トイレの洋式化の促進を早く進めてほしい。教員の職場環境整備を図ってほしい。
- ・自治会に加入する人が減少している。市でも指導が必要ではないか。
- ・萩生、大生院地域の公共交通の充実
- ・自治会員の高齢化による活動の停滞が予想される。どのようにコミュニティを維持していくのか。

⑬金栄校区 アンケート回答数23（令和7年8月12日開催）

- ・慈光園南側の市有地について、スポーツ施設（スケートボードパーク等）の整備を要望する。
- ・年々自治会加入者が減少している。市として何らかのアクションを起こすべきではないか。
- ・自治会加入のメリットを作してほしい。
- ・新たな地域自治組織を確立してほしい。
- ・慈光園南側の市有地について、通学路として整備してほしい。
- ・教員のストレスを減らす方向で考えてほしい。

⑭浮島校区 アンケート回答数14（令和7年8月18日開催）

- ・地域に対する誇りを持てるように、市に力添えをお願いしたい。
- ・市も自治会加入を促進してほしい。
- ・上部地区だけでなく、川東地区の活性化（商業、交通等）を推進してほしい。
- ・歓楽街への夜のアクセスの充実。（22:00頃までのバス運行）
- ・向こう三軒両隣の精神が重要。三世代で学習できる場づくりをしてほしい。

⑮神郷校区 アンケート回答数32（令和7年8月21日開催）

- ・避難所マップを再度作成してほしい。防災行事計画の各自治会の整備を支援してほしい。
- ・川東地区に図書館の分館がほしい。（川東支所の跡に）
- ・校区ごとにまちづくり協議会を結成し、地域主導のまちづくりを推進する。

⑯垣生校区 アンケート回答数37（令和7年8月26日開催）

- ・自治会員増となるような施策を考えてほしい。
- ・単位自治会個々の課題を把握して、優先順位をつけた早期の対応をお願いします。
- ・放棄地となった田畑が増加している。何とか農作物を作れるシステムはないか？
- ・結婚の支援（祝い金、家賃補助など）を検討してほしい。
- ・地域の間関係が希薄になってる。自治会活動の一層の活性化が大切になってくる。
- ・昔、長岩町の水路、池には水生植物、魚類が水生昆虫がたくさんいた。もう一度復活させてほしい。
- ・市有地に建つ自治会館の借地料の減免を検討してほしい。
- ・道路行政の遅れを取り戻してほしい。

⑰高津校区 アンケート回答数15（令和7年8月28日開催）

- ・自治会の活性化にさらに力を入れる。会員減少に歯止めをかけるよう検討と協議を充実させること。
- ・アリーナや子育て支援センターは今ある銅夢にはまや若宮小学校を活用すべき。新たな箱モノはいらない。
- ・自治会加入率低下に伴う地域コミュニティ力の低下に対する施策はないのか？
- ・小中学校の劣悪な環境改善を行ってほしい。

⑱角野校区 アンケート回答数26（令和7年9月1日開催）

- ・自治会加入率低下を防ぐため、加入している人の市民税を軽減する等の対策をとってはどうか。
- ・自治会加入者が年々減少している。加入者を増やす方策を検討してほしい。
- ・自治会にプラスして非自治会世帯も巻き込む新しい地域コミュニティの創設を進めてほしい。
- ・自治会館や避難場所にろ過器を設置してほしい。
- ・自治会に加入していない市職員もいるのではないか。
- ・街灯の数が減って暗い場所が多い。自治会では設置は難しい。

	対象（アンケート種類）	実施時期	対象（中心世代）	回答数
6	第一生命協力（顧客アンケート）	令和7年8～9月	20代～50代が中心	281人

問1 今後、新居浜市が力を入れるべき施策について （○印3つまで）

	回答者数	回答数	割合（%）		
1子育て支援の更なる充実	1	281	101	35.9	1位
2教育力の向上	2	281	42	14.9	
3若者向け娯楽施設、レジャー施設の誘致	3	281	77	27.4	3位
4子どもから大人まで三世代が交流できる施設の整備	4	281	40	14.2	
5高齢者の生きがい支援施設の充実	5	281	39	13.9	
6市民の誰もが憩いの場となる公園の整備	6	281	26	9.3	
7大規模なスポーツ大会や各種イベントを開催できる施設環境の整備	7	281	50	17.8	
8観光振興によるまちづくり	8	281	24	8.5	
9企業用地の整備と企業誘致による産業の集積	9	281	21	7.5	
10働きやすい環境の整備	10	281	86	30.6	2位
11近代化産業遺産を活用したまちづくり	11	281	5	1.8	
12文化センターの建て替え	12	281	46	16.4	
13駅南地区のまちづくり	13	281	6	2.1	
14公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）	14	281	52	18.5	
15道路を中心とした都市基盤整備	15	281	43	15.3	
16商店街の再開発	16	281	48	17.1	
17シティプロモーションや移住定住の促進	17	281	7	2.5	
18市民の誰もが個性を認め合う人権尊重のまちづくり	18	281	13	4.6	

問2 市長公約について、早期に実現してほしい公約は？（○印3つまで）

	回答者数	回答数	割合（%）		
1「まるごと子ども・子育て支援センター」の整備	1	281	58	20.6	
2学校、教員サポート制度の充実	2	281	46	16.4	
3部活動の地域移行に伴う「いいま文化スポーツクラブ（仮称）の設立」	3	281	25	8.9	
4新しいみらいの学校づくり	4	281	52	18.5	
5学校給食の充実	5	281	71	25.3	2位
6ひとり親世帯など生活困窮世帯への支援	6	281	40	14.2	
7バラスポーツ・パラアートへの支援	7	281	15	5.3	
8いいま版営業本部の活動充実と市長によるトップセールス	8	281	27	9.6	
9住友グループ企業、国・県・民間企業との連携強化、スタートアップ企業への支援	9	281	39	13.9	
10いつでもどこでもつながる「スマホ市役所」の実現	10	281	42	14.9	
11街のサイズにあった公共施設の在り方の検討・公設体育館等への空調整備導入	11	281	39	13.9	
12災害発生後の復興スピードアップのための取組の推進	12	281	56	19.9	
13災害対応のための資機材の導入（移動式空調設備や車載型トイレなどの配備）	13	281	61	21.7	3位
14近隣にはない文化施設機能を有したアリーナの建設	14	281	80	28.5	1位
15新居浜太鼓祭りの継承・発展	15	281	58	20.6	

問3 その他自由意見

- ・発達支援課の拡充。サポートのいる子たちが多くなるので、親のサポートも含めて必要。
- ・救急外来でも子どもが安心して受診できるよう小児科の医師の確保と常設をお願いしたい。
- ・文化センターの建て替えを進めてほしい。新居浜市へ足を運んでもらうために必要。
- ・高齢者施策にも力を入れてほしい。
- ・もっと活気のある市にしてほしい。
- ・人口増加の施策について検討してほしい。ワクワクする新居浜市の実現を。
- ・福祉関係の整備にも力をいれてほしい。
- ・道路を修理してほしい。水たまりで歩けない場所がある。
- ・川東地区の道路を広くしてほしい。
- ・みんなで遊べる公園や施設を作してほしい。
- ・スポーツにお金を出してください。
- ・高校生まで給食にしてほしい。有料でもいいので。
- ・高校生にも給食を。
- ・文化センターが使えなくなるとのことですが、早く文化施設が欲しい。文化度の低い新居浜市では困る。
- ・新居浜駅周辺にコーヒーショップ、飲食店がないので充実させてほしい。
- ・早く子どもたちが使う体育館へ空調を入れてほしいです。
- ・道路端の草木の選定をまめにしてほしい。大きな道路に出るときに見えないので。
- ・子どもたちがすくすく育ってくれる環境づくりをしてほしい。
- ・駅前再開発をお願いします。（県外から来た人が立ち寄りやすいように）
- ・高齢者が暮らしやすいまちづくりを。
- ・医療補助金の拡大
- ・不妊治療に対して、補助金を増額してほしい。
- ・共働き世帯が多い中、保育園にお子さんが入れないという話をよく聞く。保育士の労働環境改善を。
- ・市議会議員の数が多すぎると思う。
- ・祭り以外にも新居浜市の魅力をアピールしてください。
- ・コストコ等の大型施設を誘致してほしい。

巻末資料

● 新居浜市長期総合計画審議会
(条例・委員名簿・諮問・答申)
165ページ～169ページ

1 新居浜市長期総合計画審議会条例（昭和46年8月20日 条例第15条）

(設置)

第1条 新居浜市の長期総合計画について意見を求めるため、市長の諮問機関として、新居浜市長期総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じて、長期総合計画につき必要な調査審議を行い、答申するものとする。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内をもって組織し、委員は、市政に特に学識経験を有する者のうちから市長が委嘱する。

2 委員は、諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、審議会を代表し、会議の議長となる。

3 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、企画部において処理する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和63年4月1日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月20日条例第1号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

2 審議会委員名簿

新居浜市長期総合計画審議会 委員名簿（五十音順）

委員任期：R7.8.5～R8.3.31 役職は委員委嘱時点

	所属	役職	氏名
1	新居浜市社会福祉協議会	地域福祉課長	大山 由美
2	新居浜商工会議所	青年部直前会長	岡田 美恵
3	新居浜市連合自治会	理事	合田 晋一郎
4	松山大学	経営学部教授	東淵 則之 (会長)
5	新居浜工業高等専門学校	副校長 環境材料工学科教授	日野 孝紀
6	愛媛大学	法学部教授	福井 秀樹 (副会長)
7	新居浜市教育委員会	教育委員	本田 郁代
8	公募委員	会社役員	片山 明子

3 諮問

新企総第113号

令和7年8月5日

新居浜市長期総合計画審議会

会長 東淵 則之 様

新居浜市長 古川 拓哉

第六次新居浜市長期総合計画の見直しについて（諮問）

新居浜市長期総合計画審議会条例第1条に基づき、「第六次新居浜市長期総合計画の見直し」について諮問します。

4 答申

令和8年2月2日

新居浜市長 古川 拓哉 様

新居浜市長期総合計画審議会
会長 東 洸 則 之

第六次新居浜市長期総合計画後期計画（案）について（答申）

令和7年8月5日付け新企総第113号で諮問のありました第六次新居浜市長期総合計画後期計画（案）につきまして、当審議会において審議を重ねた結果、次のとおり答申いたします。

記

想定を大幅に上回るスピードでの人口減少や、南海トラフ巨大地震や豪雨災害などの自然災害の危険度の高まり、さらには、社会インフラの老朽化や、地域コミュニティにおける繋がり希薄化など、近年、行政課題は多様化、複雑化しており、地方自治体においては、限られた地域資源を有効に活用し、持続可能な行政運営を行うことが求められています。

このような状況の中、地方自治体が存続、成長していくためには、中長期的な行政計画において市政運営の見通し、方向性を示し、それを市民や事業者と共有することが重要であると認識いたしております。

こうした中、今回策定された第六次新居浜市長期総合計画後期計画（案）につきましては、新居浜市の地域課題を踏まえ、市民ニーズを考慮したものとなっており、計画内容については概ね適切であると認めるものでありますが、この計画がより一層実効性のあるものになりますよう、当審議会として以下の意見を付すことといたします。

今後におきましては、計画初年度となる令和8年度に向け、本計画をすみやかに策定するとともに、実施に際しては、当審議会の意見を十分に尊重し、計画の着実な推進を図られるよう要望いたします。

(計画全体に関する意見)

- 1 なぜ長期総合計画を策定するのかと言えば、「市民の幸せ」のためである。SDGsは2030年を目標とした取組であるが、その次は、ウェルビーイングの時代だと言われている。「市民の幸せの実現」、「ウェルビーイングの実現」を意識し、後期計画に基づく取組を進めていただきたい。
- 2 今回、審議会委員の意見を踏まえ、見直し・追加したものも含め、当該計画における成果指標、数値目標については、各施策の成果を検証するための重要なデータとなることから、定期的に実績を検証するとともに、その結果を分析し、具体的な施策に反映していただきたい。
- 3 今回、審議会委員の意見を踏まえ、市民意向調査における各施策について、「「不満」と回答した市民の割合を減らしていくこと」を新たな成果指標・目標として設定したが、毎年の調査を通じ、市民の具体的な不満要素の把握に努め、不満解消に向けた具体的な取組を実施していただきたい。
- 4 当該計画の成果指標については、アウトカム指標とアウトプット指標が混在している。次回の長期総合計画策定時には、可能な限り、アウトカム指標に統一できるよう、共通認識のもと成果指標の検討・設定を行っていただきたい。
- 5 市民意向調査を実施する際には、「新居浜市が具体的にどのような事業を実施し、どのような成果が出ているか」、それを知ってもらい、そのうえで回答していただくことが望ましい。そうした視点で、設問の記載内容を工夫したり、可能であれば、アンケート調査票にプラスして、具体的な市の取組や成果がわかる資料（1枚もの）を添付することを検討していただきたい。
- 6 全国的に人口減少、少子化が進む中、今後も一定規模の人口減少は避けられない状況にある。新居浜市には大学がないこともあり、高校卒業後、多くの若者が市外へ転出していると思われるが、一度新居浜市を離れた若者にUターンしてもらうための取組、施策により一層注力していただきたい。

(まちづくりの目標に対する意見)

(まちづくりの目標 1)

- 1 施策 1 - 3 教育現場における I C T の活用は今後益々重要になってくる。近年利活用が進む生成 A I についても教育現場に取り入れていただきたい。
- 2 施策 1 - 3 不登校の児童・生徒の割合が急増しており、その対応は急務である。追加で設定した成果指標「学校以外に専門機関等と関わりのある児童・生徒の割合を増やすこと」に加え、サポートルームの増設等にも取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標 3)

- 3 施策 3 - 4 近年、ふるさと納税は地方自治体にとって大きな財源となっており、新居浜市においても、専門家のアドバイスを踏まえ、新たな視点での返礼品の開発、歳入増に注力していただきたい。
- 4 施策 3 - 4 成果指標として「宿泊を伴う観光入込客数」を追加で設定しているが、目標達成に向け、観光施策の充実に取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標 4)

- 5 施策 4 - 8 成果指標として「デマンドタクシーの実利用者数」を追加で設定しているが、高齢化が進む中、より多くの市民に制度を利用していただけるよう、制度の周知を図るとともに、関連施策の充実に取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標 5)

- 6 施策 5 - 1 成果指標として「電子図書館登録者数」を追加で設定しているが、市役所のデジタル化を推進する中、より多くの市民に電子図書館を利用していただけるよう広報・周知に取り組んでいただきたい。
- 7 施策 5 - 5 地区別人権・同和教育懇談会の参加者を増やすため、オンライン開催等も検討していただきたい。
- 8 施策 5 - 9 国際化を推進するためには、多くの日本人が海外に足を運び、外国の文化や人々に触れることが肝要であり、新居浜市でもそうした観点の取組の充実を図っていただきたい。